文部科学省 令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」

観光 IT 人材育成のための理系転換推進事業

事業成果報告書

令和8年2月

学校法人 KBC学園
専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として
学校法人KBC学園　専修学校インターナショナルリゾートカレッジが実施した
令和7年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」の
成果をとりまとめたものです。

目次

第１部：事業概要 1

1. 事業の趣旨・目的 1
2. 取組の実施体制 1
3. 当該モデルが必要な背景について 2
4. 開発するモデルの概要 5
5. 計画の全体像 10
6. 事業を実施する上で設置する会議 13
7. 事業実施に伴うアウトプット（成果物） 13
8. 今年度の具体的活動 14
    1）スケジュール 14
    2）IT 科目のカリキュラムマップ及び教材の開発 15
    3）理系転換手順書の作成 15
    4）実証講座 15

第2部：今年度の活動報告 16

1. 実証授業アンケート概要 16
    1）アンケート調査対象 16
    2）アンケート方法・集計方法 16
2. 実証授業アンケート結果 17
    1）高校生向け RESAS 実証授業アンケート調査 17
    2）専門学校生向け RESAS 実証授業アンケート調査 44
    3）教職員向け RESAS 実証授業アンケート調査 61
    4）アンケート調査分析 73
    5）付録：資料 76
    6）RESAS 実証授業配付資料（抜粋） 82
3. プログラム検討委員会議事録 83
    1）第１回プログラム検討委員会議事録 83
    2）第２回プログラム検討委員会議事録 89
    3）第３回プログラム検討委員会議事録 95

第１部：事業概要

1. 事業の趣旨・目的

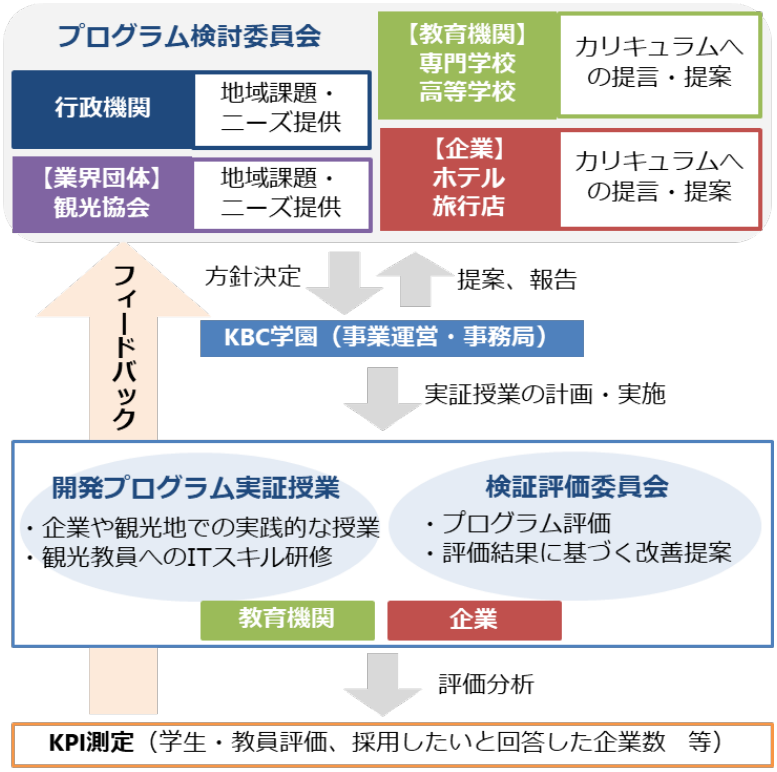
テクノロジーが急速に進化する現代において、企業が DX を推進するためには、IT 人材の確保が不可欠である。経済産業省の調査（2019）によれば、2030 年には IT 人材が最大 45 万人不足すると推計されており、特に「高度 IT 人材」及び「先端 IT 人材」の需要が急速に高まっている。

観光業界においても、IT 人材の拡充は極めて重要である。観光を主要産業とする沖縄県においても、観光産業は活況を呈している一方で、観光客の特定スポットへの集中や滞在期間の短さ、観光人材及びレンタカーの不足が課題となっている。さらに、日本の宿泊業は世界的に見ても生産性が低いという課題を抱えている。

そこで本事業では、沖縄県において、「観光学科」を「観光 IT 学科」へと転換し、今後求められる「観光 IT 人材」の育成を推進する。現在の多くの観光学科は「おもてなし人材」の育成を中心としており、沖縄県内には観光 IT に特化した学科を有する専門学校・大学がない。

観光業界で今後期待されるのは、「データサイエンス」を応用して多様な価値を創造できる IT 人材である。観光業界においても、人流データなどの分析から具体的な施策を展開できる人材が必要とされる。本事業を通して次世代の観光 IT 人材の育成を推進し、地方における IT 人材の育成と観光業の発展に貢献する。

2. 取組の実施体制



〇教育機関

カリキュラムへの提言、実態調査・実証授業協力、広報周知

〇企業・団体

ニーズ調査協力、カリキュラムへの提言、実習受け入れ

〇行政機関・その他

地域課題・ニーズ調査協力、カリキュラムへの提言、教材開発

3. 当該モデルが必要な背景について

1. IT 人材不足と観光業における現状・課題

(1)IT 人材不足

テクノロジーが急速に進化する現代において、企業が DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するためには、IT 人材の確保が不可欠である。経済産業省の調査(2019)によれば、2030 年には IT 人材が最大 45 万人不足すると推計されており、特に「高度 IT 人材」及び「先端 IT 人材」の需要が急速に高まっている。

IT 人材の確保状況に関する企業への調査では、「IT 人材の数が不足している」と回答した企業は、95.1%(1001 名以上)、90.0%(300～1000 名)、59.4%(300 名以下)であった(独立行政法人情報処理推進機構「DX 白書 2023」)。また、国内の IT 技術者数の約 6 割が東京圏に集中しており(国勢調査 2015)、デジタル人材の 7 割強が IT 企業内に偏在している(IPA「IT 人材白書 2017」)。

図1. IT 人材の分類

IT 人材	必要な IT スキル	職種の例
従来型 IT 人材	・既存の IT ツールを運用することができる ・要求された仕様を満たすプログラミングができる能力	SE プログラマー 等
高度 IT 人材	・IT ツールを使えるだけでなく、別のサービスなどと結び付けて新しい商品やサービスを生み出すなどの応用能力	IT アーキテクト IT スペシャリスト 等
先端 IT 人材	・AI や IoT・ビッグデータ・クラウドなどの最先端 IT 技術を扱える ・上記を運用する上で求められるセキュリティ対策に	AI エンジニア データサイエンティスト等

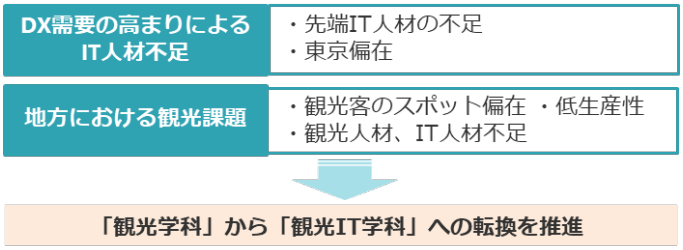
	関する知識	

(2)観光需要の高まりによる問題

観光業界においても、IT 人材の拡充は極めて重要である。コロナ禍の終息に伴い、観光需要が回復しつつあり、人口減少が進む中で観光は地方活性化の切り札である。観光庁では、観光立国の実現に向け、地方部の観光地の魅力向上や受入環境整備を通じて**地方誘客を拡大していく必要**があるとしている(R5 観光庁「観光立国推進基本計画」)。

観光需要が高まっている中、観光業は様々な課題を抱えている。観光を主要産業とする沖縄県においても、観光産業は活況を呈している一方で、**観光客の特定スポットへの集中や滞在期間の短さ、観光人材やレンタカー不足**が課題となっている(2023 年 8 月 14 日読売新聞オンライン)。さらに、日本の宿泊業は世界的に見ても**生産性が低い**という課題を抱えている(R4 一般社団法人日本観光経営学会「観光マネジメント・レビュー観光業における労働生産性」)。企業が成長していく中で観光 IT 人材の採用・育成が必要となるが、観光関連企業において、「IT・デジタル化の対応が不足している理由」としては、「必要性が認識されていない」が 44.7%、「知識、スキルのある人材が不足している」が 44.3%となっており、規模の小さな事業者では、顧客データの活用、従業員間の情報共有などが遅れている(観光庁「令和 4 年版 観光白書(2022 年 6 月 10 日)」)。

そこで本事業では、沖縄県において、「観光学科」を「観光 IT 学科」へと転換し、今後求められる「観光 IT 人材」の育成を推進する。



2. 観光 IT 人材育成の必要性

(1)観光 IT 人材に関する教育の現状

本校における観光学科は「ブライダル・ホテル科」であり、全国の専門学校においても、現在の多くの観光学科は、「おもてなし人材」の育成を中心としている。また、沖縄県内では、観光 IT に特化した学科を有する専門学校・大学がない。

観光業界で今後期待されるのは、「データサイエンス」を応用して多様な価値を創造することができる IT 人材である。人流データなどの分析から具体的な施策を展開し、課題解決や新たなビジネスを創造ができる人材が必要とされる。

(2)IT 人材育成の教育の現状

データサイエンスは、数学的思考やデータ分析等によりデータから新しい価値を見出すためのアプローチであり、様々な分野へ応用展開でき、観光はデータサイエンスの応用が期待できる分野の一つである。なお、文部科学省の給付型奨学金の学科分類によると、理工農系に分類されている。

企業の IT 人材が今後身につけるべき重要なスキルについてのアンケート調査によると、上位は「AI」、「データサイエンス」となっている(IPA「デジタル時代のスキル変革等に関する調査(2021 年度)」)。2020 年から 3 年間にかけ数学・情報科学や情報工学の学科が最も増えているが(R5 旺文社 教育情報センター「日本の大学数」)、データサイエンティスト学科は関東や近畿地方に集中しており、**地方の専門学校が少ない。**また、教育を推進するにあたり、「教員不足」「新しいカリキュラムと既存のカリキュラムをどう整理していくか」が大きな課題として挙げられている(R5 旺文社 教育情報センター「数理・データサイエンス・AI 教育の高まりを探る」)。

3. 本事業の取組ポイント

(1)観光に関連するデータ分析スキルに焦点を当てる

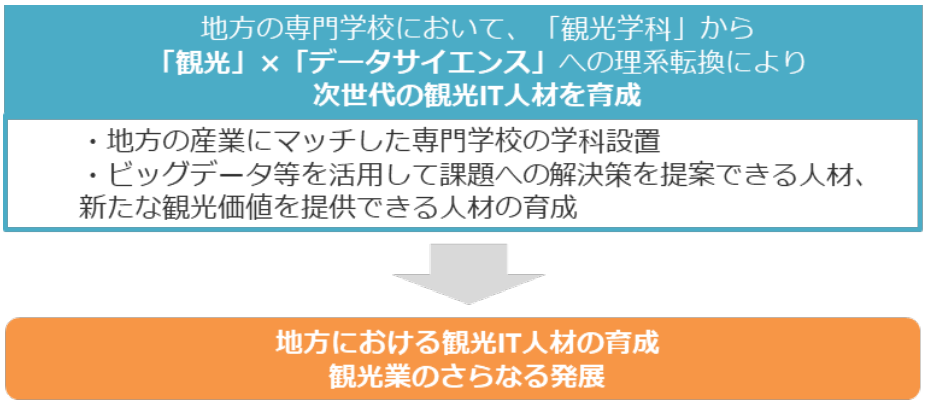
観光データの分析や顧客行動の予測など、観光業界で特に重要なデータ分析スキルに焦点を当てる。また、実例・実課題を用いた演習、沖縄県の企業や行政と協力した PBL 方式(問題解決型学習)の授業、インターンシップ実習により、現場に即したスキルを身につける。

(2)教員指導書及び学科転換に関するマニュアルを作成

教員指導書及び学科転換に関する実務マニュアルを作成し、他の専門学校においても理系転換を検討する際の指針としてもらうことを目指す。観光分野だけでなく、他分野(美容・農業)においても参考にできるものとする。

(3)企業からのニーズが高い観光 IT 人材を育成し、学生にとっても魅力のあるプログラムを開発

観光関連企業へのニーズ調査や KPI 測定により、企業及び高校生等からのプログラム評価を測定することにより、社会ニーズの高い学科設置プログラムを開発する。



4. 開発するモデルの概要

(1)観光の基礎を学び、データ活用方法を重点的に学べる

観光業界で働くために必要とされる観光ビジネスや観光デザイン等の観光分野の基礎知識を学んだ後、データ活用方法を重点的に学ぶカリキュラムとする。演習では、観光データの分析や顧客行動の予測など、観光業界で特に重要なデータ分析スキルに焦点を当て、現場に即したスキルを身に付ける。

(2)ノーコードツールを使用した IT スキルの習得

ノーコードツールを使用したアプリ開発などの IT スキル学習を取り入れる。キャンペーンへの対応や混雑を可視化するアプリ開発など、観光において直面する課題に対して、IT ツールを使用して課題を解決するスキルを身に付ける。

(3)実践的な授業

沖縄県の企業や行政と協力した PBL 方式の授業やインターンシップ実習により、実践的スキルの習得を目指す。データ活用により課題解決に向けて提案することにより、学生及び企業の双方が、就職・採用後をイメージできる。

設置学科の基本情報

基本情報	内容・目標等
設置学科	観光 IT 学科
目指すべき人材像	・観光業界のビッグデータを活用して新たなビジネス価値を創出できる人材 ・観光業界の現場で即戦力として活躍できる IT スキルを持つ人材 ・ノーコードツールを活用して実際の課題を解決できる人材
目指すキャリア	➢ 観光関連企業の IT 部門 ➢ データアナリスト、データサイエンティスト ➢ IT サポートスタッフ
学科人数	40 人
総授業時数	850 時間程度×3 年間

目指せる資格

現在の観光学科で目指す資格

・観光プランナー

・総合旅行業者取扱管理者

・国内旅行業務取扱管理者

・ホテルビジネス検定　等

転換後の観光 IT 学科で目指す資格

観光	データサイエンス・IT
・観光プランナー	・データサイエンティスト検定 ・OSS-DB 技術者認定試験 ・統計検定 ・NCPA 認定ノーコードパスポート ・データ分析実務スキル検定 ・G 検定・E 資格（AI 関連） ・ビジネス数学検定　等

授業カリキュラム案

既存の観光科目に加え、データサイエンスや IT スキル関連の科目を追加する

科目		1年生	2年生
授業科目	観光	観光学概論 観光計画概論 観光まちづくり概論 歴史と観光 PR動画制作 SNSマーケティング	観光統計学 インバウンド事業論 観光資源
	データサイエンス	データリテラシー データサイエンス概論 数学基礎、アルゴリズム 分析設計 ビッグデータとエンジニアリング プログラミング基礎	データ表現 統計学 データ観察 データ可視化 データベース ITセキュリティ
	ITスキル関連	デジタルリテラシー ノーコードツール入門	アプリケーション開発実習（ノーコードツールを用いたアプリ開発の実践）
	実習・その他の科目	ロジカルシンキング	ビジネスリーダー論
育成能力		観光基礎 データサイエンス基礎	企画力、データサイエンス応用 課題解決力

科目		3年生
授業科目	観光	観光ビッグデータ分析 観光実学演習
	データサイエンス	AIの構築と運用 機械学習の基礎と展望 深層学習の基礎と展望
	ITスキル関連	プロジェクト管理（アプリ開発プロジェクトの管理と運用）
	実習・その他の科目	インターンシップ実習 フィールドワーク ※実践的な授業に関する詳細は次頁に記載
育成能力		観光・データサイエンスの知識を生かした実践力

実践的な授業の内容

1. 演習

内容	沖縄県や全国の観光地が直面する具体的な課題に対して、データを活用した解決案を提案する。
テーマ（例）	・滞在期間の伸び悩みへの解決案 ・レンタカー不足への解決案　　等
活動の流れ	①課題分析 グループ内でデータを分析し、問題の原因を探る ②解決案の提案 分析結果を基に、解決策を考察 ③発表 各グループごとに解決策を発表し、他のグループや指導教員からフィードバックを受ける

2. フィールドワーク

内容	データ収集や実際に観光地に訪れ、観光地が直面する課題を調査し、データに基づいた解決案を提案する。
訪問場所	沖縄県の本土・離島の観光スポット
活動の流れ	①調査準備 事前にデータや情報を収集し、調査対象地についての予備知識を持つ ②現地訪問 沖縄の人気観光スポットや、観光地で直面する具体的な問題（交通インフラ、情報収集など）を現地で観察・調査 ③問題分析 現地で得た情報を基に、問題の原因や影響を分析 ④解決案の考察 得られたデータと現地の観察結果をもとに、具体的な解決案を考察 ⑤報告書作成 調査結果と解決案をまとめた報告書を作成し、発表

3. インターンシップ実習

内容	観光関連企業へ一定期間訪問し、データを活用した課題解決案をプレゼンする。
期間	2週間～1ヵ月程度
対象企業	・地元の観光関連企業（ホテル、旅行代理店等）及び観光協会 ・IT 企業（観光向けソリューションを提供する企業）
活動内容	①初期調査：企業訪問前に企業の概要や業界のトレンドを調査 ②企業訪問：実際に企業を訪問し、担当者から企業が直面している課題を聞く ③データ収集：企業から提供されたデータをもとに、課題の詳細な分析を行う ④課題解決案の提案：分析結果を基に、具体的な課題解決策を提案。最終日にプレゼンテーションを行い、企業からのフィードバックを受ける

■学科転換に向けた普及活動・広報活動

1)学科転換にあたってのマニュアルを作成

学科転換に関して、他の専門学校が同様の転換を検討する際の参考となるよう、右記に示した通りマニュアルを作成する。

マニュアルテーマ	項目
学科設置に関して	・専修学校設置基準(文部科学省)などに準じた対応 ・学科新設に申請に関する都道府県との連携 ・学科運営に関するガバナンス体制やリスク管理 ・教育課程、教員の組織編成　　等
企業や業界との連携 フォローアップ体制	・企画向け説明ツールの作成(就職・カリキュラム連携) ・PBL テーマの収集及び実践マニュアル ・カリキュラムや実習内容についての定期的な評価　等
学生募集	・高校生への告知方法 ・高校生向けオープンキャンパス体験メニュー ・高校出張授業プログラム　　等

2)学科の魅力を伝える広報活動

教員や保護者を対象に、学科の魅力を PR するため、学科の概要やカリキュラムを紹介する広報ツールを作成する。

制作物	内容	活用方法
学科説明用パワーポイント	学科の魅力、カリキュラム概要の説明	教員や保護者に動画を配信
学科説明用動画		

開発モデル並びに付随する成果物に関しては、令和7年度を開発初年度とし、令和8年度を完了年度とする。

プログラム検討委員会に提案・承認頂いた開発モデルに関しては、随時実証授業を行い検証、改訂、再構築のプロセスを経て完成に至る。

5. 計画の全体像

【令和 6 年度】

1. アンケート・ヒアリング調査

1）調査対象

①観光学科を持つ専修学校、大学等

②観光関連の企業（旅行業・ホテル・ブライダル・交通系）

2）調査内容

・現在の教員や学生の IT スキル評価

・IT 人材の採用状況

・カリキュラム変更の際の課題　　等

2. プレ実証

1）高校生向けデータ活用講座

2）観光学科教員への IT スキル研修

3. 委員会開催（10 月、1 月を予定）

1）開発分野の動向情報共有

2）調査分析より課題とニーズ整理

3）移行計画案の検討

4. 報告と成果物

1）事業報告書

2）Web サイトでの活動報告

3）事業 PR 動画

4）授業カリキュラム等の成果物

【令和 7 年度】

1. 移行計画案の作成

1）既存カリキュラムの整理、新規カリキュラムへの移行方法

2）理系教員の追加配置

2. 教材開発

1)授業カリキュラム

2)学生用の教材

3)教員指導書

4)学科転換マニュアル

3. 実証授業

1)学生を対象とした実証授業

　実際のデータを使用した演習、企業との連携を通じたインターンシップの実施

2)既存教員への研修

3)評価分析

4. 委員会開催(7 月、12 月、1 月を予定)

1)開発モデルの課題整理

2)開発モデルの検証評価

3)実証授業報告

4)次年度の方向性の決定

5. 報告と成果物

1)事業報告書

2)Web サイトでの活動報告

3)事業 PR 動画

4)開発教材等の成果物

【令和 8 年度】

1. 移行計画案の作成

1)既存カリキュラムの整理、新規カリキュラムへの移行方法

2)理系教員の追加配置

2. 新規実習先開拓

1)企業や行政の新規実習先開拓

3. 実証授業

1)学生を対象とした実証授業

　実際のデータを使用した演習、企業との連携を通じたインターンシップの実施

2)既存教員への研修

3)評価分析

4. 委員会開催(7 月、12 月、1 月を予定)

1)開発モデルの検証評価

2)普及に向けた取組検討

5. 報告と成果物

1)事業報告書

2)Web サイトでの活動報告

3)事業 PR 動画

4)学科転換マニュアル等の成果物

6. 事業を実施する上で設置する会議

会議名	プログラム検討委員会		
目的・役割	観光 IT 学科のカリキュラム開発に向けて、教育機関、行政、観光企業の方々を交えたプログラム検討委員会を形成する。多様な視点と専門知識を取り入れ、地域連携を強化し、実践的で効果的な教育プログラムを推進する。		
検討の具体的内容	・令和 7 年度事業計画 ・観光 IT 人材育成に関するカリキュラムマップについて ・令和 7 年度実証授業について ・学科転換マニュアルについて ・開発教材、シラバスについて ・令和 8 年度事業計画		
委員数	19 人	開催回数（令和 7 年度）	3 回

令和7年度

第 1 回:令和 7 年 7 月 18 日(金)15:00～17:00

第 2 回:令和 7 年 10 月 24 日(金)15:00～17:00

第 3 回:令和 8 年 1 月 23 日(金)15:00～17:00

7. 事業実施に伴うアウトプット(成果物)

学習教材・成果物		内容（例）	仕様・数量（目安）	取組年度
計画書	移行計画案	教育課程策定、施設・設備の整備、企業との連携　等	1式	令和6～8年度
教材	カリキュラムマップ	3年間の講義・実習科目	1式	令和7年度
	シラバス	講義・実習科目の学習目標など	1 式	令和7,8年度
	教科書	データサイエンス分野	100頁	令和7,8年度
	演習課題	演習で使用する課題	1 式	令和7,8年度
	教員指導用教材	データサイエンス・IT科目の知識、学生への指導　等	1式	令和7,8年度
学科転換マニュアル	学科設置に関して	学科設置基準、体制構築　等	30頁	令和7年度
	企業や業界との連携	インターンシップやフィールドワークの実施　等	30頁	令和8年度
	学生募集	告知方法、オープンキャンパスの企画　等	30頁	令和8年度
広報	学科説明用パワーポイント	学科カリキュラム、特長	20頁	令和7,8年度
	学科説明用動画		5分／1本	令和7,8年度
報告書	ニーズ調査報告書	アンケート・ヒアリング調査項目、結果	80頁	令和6年度
	事業成果報告書	各年度の取組内容、成果	100頁	各年度
	事業PR動画		1本	

8. 今年度の具体的活動

1)スケジュール

	取組内容①	取組内容②	取組内容③	取組内容④	取組内容⑤
	プログラム検討委員会	実証	プログラム開発	理系転換手順書	その他
5 月					年間計画の確認
6 月			カリキュラムマップ作成	理系転換手順書作成	
7 月	第 1 回委員会開催 ・令和 7 年度事業計画 ・観光 IT 系カリキュラム案		教材開発		
8 月					
9 月		実証授業アンケート票作成			
10 月	第2回委員会開催 ・観光 IT 系開発教材 ・理系転換手順書並びに実証授業について		開発した教材の評価	理系転換手順書の評価	
11 月		RESAS 実証授業を開催 ・高校生対象 ・専門学校生対象			
12 月		RESAS 実証授業を開催 ・高校生対象 ・専門学校生対象 ・教職員対象			

1月	第3回委員会開催 ・令和7年度事業報告（開発教材、実証授業） ・令和8年度事業の方向性	実証授業評価分析報告書より課題抽出			
2月			・カリキュラムマップ完成 ・教材開発（180コマ分）完成	理系転換手順書完成	事業報告書作成 PR動画制作 事業 Web サイト更新

2）IT 科目のカリキュラムマップ及び教材の開発

①新設する観光 IT 学科に対応する IT 科目のカリキュラムマップを作成した。

※IT 科目の総時間数は 1,600 時間（3 年間）で、1 年生は IT 基礎科目、2 年・3 年生は IT 専門科目をメインとした。

②カリキュラムマップに従い、観光 IT 人材育成のための教材を開発した。

※開発教材のボリュームは 180 時間（50 分×180 コマ）分で教材を作成した。

3）理系転換手順書の作成

学科転換に関して他の専門学校が同様の転換を検討する際の参考となるよう学科転換実務マニュアルを開発した。

4）実証講座

高校生及び専門学校生対象としたデータ活用（RESAS）講座、教職員を対象とした教える側の視点を学ぶデータ活用（RESAS）研修を実施した。

第2部：今年度の活動報告

今年度は実証授業の評価分析を実施した。その調査結果は下記の通りである。

1. 実証授業アンケート概要

1)アンケート調査対象

① 高校生向け RESAS 実証授業・・・沖縄県立具志川商業高等学校

② 専門学校生向け RESAS 実証授業・・・学校法人 KBC 学園

③ 観光教員向け RESAS 実証授業

2)アンケート方法・集計方法

① ② ③ともに RESAS 実証授業後、質問紙で実施し、アンケート調査を集計する

また、集計データから、グラフ作成・クロス集計を行い、分析する

①高校生向け実証授業のアンケート

2日間の授業、それぞれの授業終了後にアンケートを実施し、1日目と2日目の比較、観光系と観光以外に進学・就職する学生を比較検証する

②専門学校生向け実証授業のアンケート

2日間の授業、それぞれの授業終了後にアンケートを実施し、1日目と2日目の比較検証する

③観光教員向け実証授業のアンケート

教員の目線から、教材の改良・授業運営の参考のためアンケートを実施する

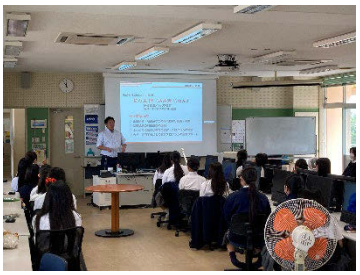
2. 実証授業アンケート結果

1)高校生向け RESAS 実証授業アンケート調査

概要

対象	沖縄県立具志川商業高等学校 ・観光ビジネス科 3 年生(1回目:26 名　2回目:32 名)
回答率	100%
実施時期	令和 7 年 11 月 14 日(金)11:50～15:20(50 分×3 コマ) 令和 7 年 11 月 28 日(金)11:35～14:50(45 分×3 コマ)
調査項目	進路1. 進路の決定(2 日目のみ) 進路2. 進路の種別(2 日目のみ) 1. 授業の満足度 2. 授業の理解度 3. オリジナル教材の使いやすさ 4. データ分析経験 5. 将来への展望 6. 印象に残ったこと(2 日目のみ) 7. ご意見・ご提案(2 日目のみ)
調査方法	質問票配布による回答
回答時間	約 3～7 分

授業風景







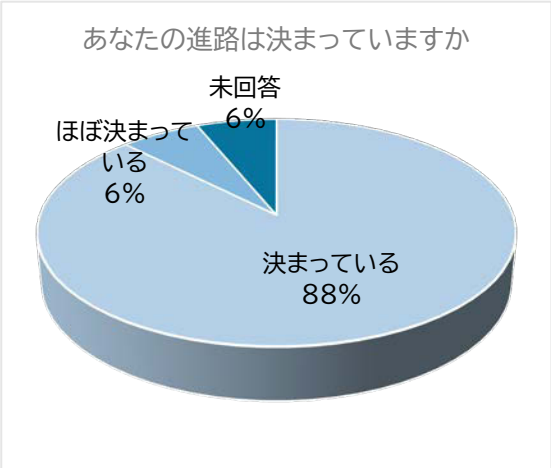


アンケート詳細(1 回目、2 回目比較)

【進路について】

進路1. あなたの進路は決まっていますか(決まっている・ほぼ決まっている方は 進路2. へ)

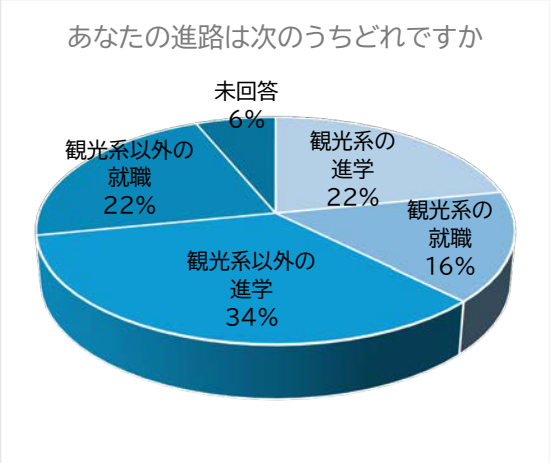
決まっている	28
ほぼ決まっている	2
迷っている	0
全く決まっていない	0
未回答	2



進路において「決まっている」が 28 名(88%)、「ほぼ決まっている」が 2 名(6%)と全体の 94%が決定しているようであった。

進路2. あなたの進路は次のうちどれですか

観光系の進学	7
観光系の就職	5
観光系以外の進学	11
観光系以外の就職	7
未回答	2

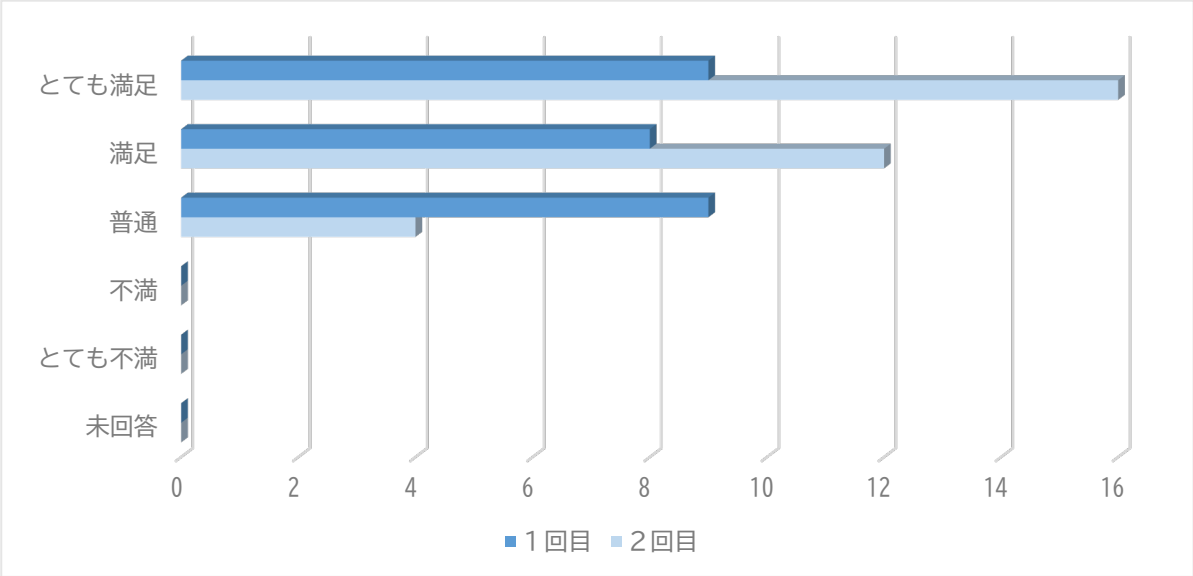


未回答の2名は前問(進路 1)での未回答者である。観光系以外の進学・就職が全体の約半数を超えている。

【授業について】

Q1　授業の満足度について教えてください

	1回目	2回目
とても満足	9	16
満足	8	12
普通	9	4
不満	0	0
とても不満	0	0
未回答	0	0



《その理由》

1回目

- RESAS について理解できてとても分かりやすかった
- 講師の方が短くまとめて説明してくれて受けやすかった
- 内容は理解できたけど、少しむずかしかった
- 短い時間だったので理解が少しおいつかなかったです。
- どこに観光客があるまっているか比較することができるからです
- リーサスでどんなことが調べられるのかよく分かったから。
- パワーポイントが少し難しかった
- RESAS を使って、色々なのが見れて良いと思いました。
- リーサスの使い方が少しずつ知れたからです
- 自分が普段から見えない視点で物事を考えられて楽しかった。

・　今後活用できそうな情報を得られた
・　パソコン苦手で、あつかうのむずかしかった
・　むずかしい所とか少しあった
・　可もなく不可もなく
・　生きて行く上でいつか絶対使えそうと思った
・　普段しない学習だったため
・　みんなで協力して普段気づかないことを学べた
・　細かく説明してくれた
・　分析されたものがすぐわかって、わかりやすかったけど活用が難しかった
・　自分の住んでいる地域や県内の観光、人口について知ることができた。
・　沖縄の宿泊のこととか知ることができた
・　いいと思う。
・　データをあつめパワポを時間内に作れた
・　講師の方も分からない所とか教えてくれてとてもよかったです

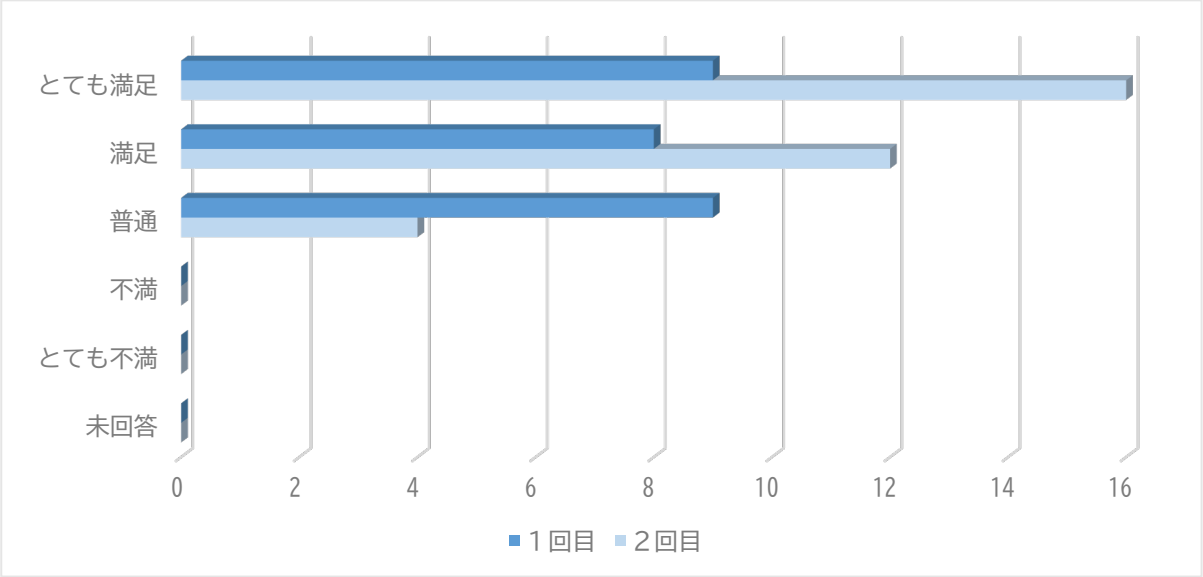
2 回目

・　自分たちでしっかりと発表までですることができたから。
・　自分達の発表を最後までできたから。
・　1日間はけっこうむずかしかったけど、2日目グループで考えて体験することができたので良かったです。
・　前回より活用の仕方が分かったのでスライドもまとめられるようになった。
・　リーサスを使って色々調べる事が出来た
・　プレゼンを作ってオーバーツーリズムについて考えることができた
・　グループで協力して発表できて楽しかったです。
・　自分であまり考えの方法を他のグループから聞けて楽しかった。
・　これから先知らなかったであろう知識が増えた。
・　データの活用法やプレゼンテーションに直結する内容でそれの関心が高まって自分でもっと勉強したいと思いました。
・　準備時間が少なく満足な発表ができなかった
・　たのしかったから
・　発表たのしかった
・　リーサスという便利なものを知れたから
・　自分達で沖縄の課題をじっくり考えることができたから。
・　RESAS を使いこなしてグラフのだし方を理解することができました。
・　たくさん話しながら教えていて色々なこと知れました。
・　リーサスの使い方が学べたから。

- 普段しないから
- 楽しかったから
- とてもわかりやすく、優しかった
- 使ったことのないリーサスをつかってせつめいしたから
- むずかしかった
- 少し難しかったです。
- 自分達で実際に調べてパワポを使って発表するのは良い経験になった
- わかりやすい
- オーバーツーリズムについて知れた
- 進学席でやるのに似てた
- 説明が良いと思った
- オーバーツーリズムについて知れた
- 沖縄の観光地について知ることができた
- 知らなかった RESAS のデータとか使えるなと思った

Q2　授業の理解度について教えてください

	1回目	2回目
とてもよく理解できた	3	13
理解できた	8	11
普通	11	8
あまり理解できなかった	4	0
全く理解できなかった	0	0
未回答	0	0



《その理由》

1回目

- 情報が分かりやすかった
- 講師の方々が近くにいてくれて教えてくれたから
- グラフの出し方がむずい
- 難しかったです
- 質問の意味が難しくて理解するのが難しかったです
- 演習②があまり分かってなかった
- 再来週パワーポイント作りを頑張りたいです。
- 少しむずかしかった
- 少し分からない部分もあったが、前より理解することができました
- 質問をするたびに分かりやすく説明してくれるから。
- 使い方、リーサスを使ってどんなものが見れるのか分かった。

- むずかしかった
- 良くも悪くもない
- 聞いてある程度わかるぐらいだったから
- リーサスがどういう役割を果たしているのか、何のためにつくられたのかが難しくて分からなかった
- 説明がていねいだった
- 所々わからないところがあった
- グラフの見方とかむずかしかった
- 新しく学ぶことを資料などから説明してくれた
- RESAS を活用して問題を解決するのが難しかった
- 説明内容がとても分かりやすかった。
- 少し難しかった。
- 説明とかスライドが分かりやすかった。
- 講師の方に詳しく教えてもらい理解できた
- 難しい内容が多かった
- ちょっとリーサスの使い方がむずかしい

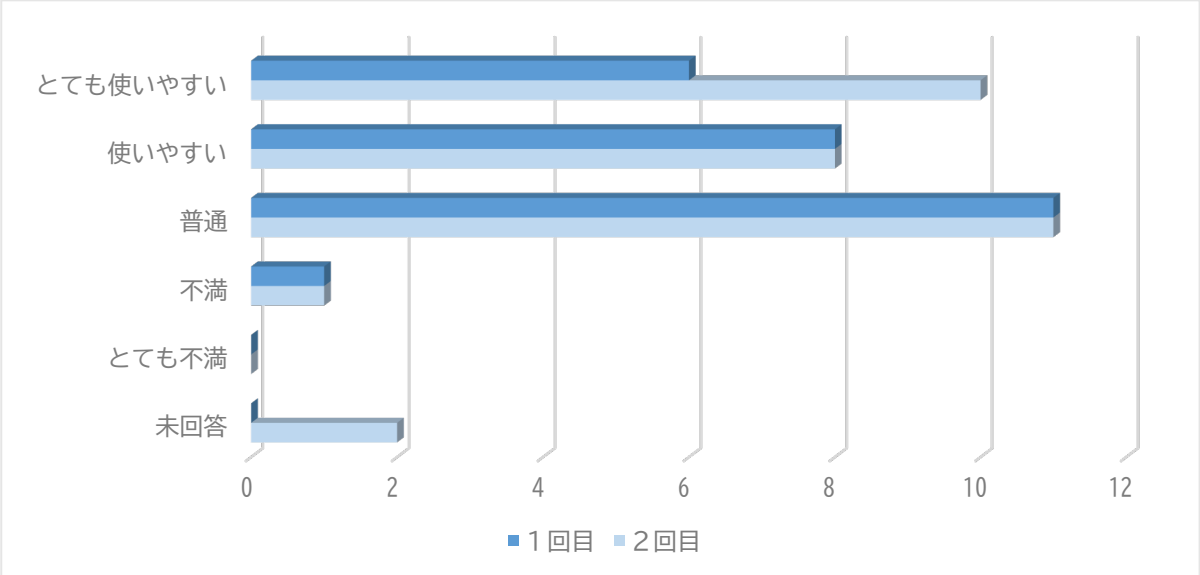
2 回目

- 講師の方や先生たちが周りながら手伝ってくれたから。
- 課題発見から解決に向けての取り組み内容が難しかった。
- 先生方の力も借りながら、話し合ってできたので良かったです。
- 前回は RESAS を使うことで何が分かるのか理解していなかったけど活用法が分かった。
- どこにどれぐらいの場所があるのか、グラフも読み取る事が出来ました。
- RESAS を使って課題を見つけ、対策など考えることができた
- オーバーツーリズムの解決策について知れました。
- もっと他の考え方や使い方もできるなと思った。
- リーサスを使ってどんな情報やデータを得られるのかはちゃんと理解できた。
- 実際に自分が思いついたアイデアか提案を活用し、グラフなどで数値化できるから。
- リーサスの機能は分かったけど使い方が難しかった。
- りかいできたから
- ある程度理解できた
- オーバーツーリズムの対策を良く理解できた
- パワーポイントで図やグラフを使うことができた。
- 丁寧に RESAS の使い方や例を挙げてとても分かりやすい授業でした。
- 分かりやすく説明してよかったです。
- ちょっと課題も文章もむずかしかった。

- たくさん説明してくれたから
- 少しわかった程度だから
- スライドがとても見やすかった
- すごくむずかしかったです
- 使い方がわかれば、やりやすかった
- 理解は少しできました。
- 説明が分かりやすかった
- わかりやすい
- むずかしい課題とかがたまにあった
- オーバーツーリズム対策について色々しれた
- 難しかった
- RESAS の使い方がわかった
- 対策など知れたから

Q3　授業で使用したオリジナル教材の使いやすさについて教えてください

	1回目	2回目
とても使いやすい	6	10
使いやすい	8	8
普通	11	11
不満	1	1
とても不満	0	0
未回答	0	2



《その理由》

1回目

- たくさんのコンテンツがあり、情報が分かりやすかった
- まだ慣れていなかったけど、少しさわれたから
- 難しかった
- 難しかったです
- ある程度こまかく場所の指定や調べたいことを調査できるから
- まだ使いこなせていない
- 県の人口など知れてとても便利でした
- 色々なのが見れておもしろかったです
- グラフとかで全て表されて分かりやすかったです
- 分からない事を一瞬でデータ化されていてつかいやすくわかりやすかった。
- グラフやデータが簡潔で見やすい

・　色んなボタンあってむずかしかった
・　分かりやすかったり使いやすそうな教材があった
・　なんともなかった
・　バカには理解しづらかったです。
・　グラフまであるところが good
・　使い方がむずかしかった
・　まだ使い方をはあくできてない
・　使いやすかったけどバグがあった
・　使い方がわかれば知りたいことがわかるし、使いやすかった
・　ボタンを押しただけでひと目で分かるから
・　また新しい調べ方とか知ることができた
・　あんまり分からないから普通にした。
・　RESAS はグラフなどみえやすかった
・　とてもデータとかすぐにできて使いやすかった。

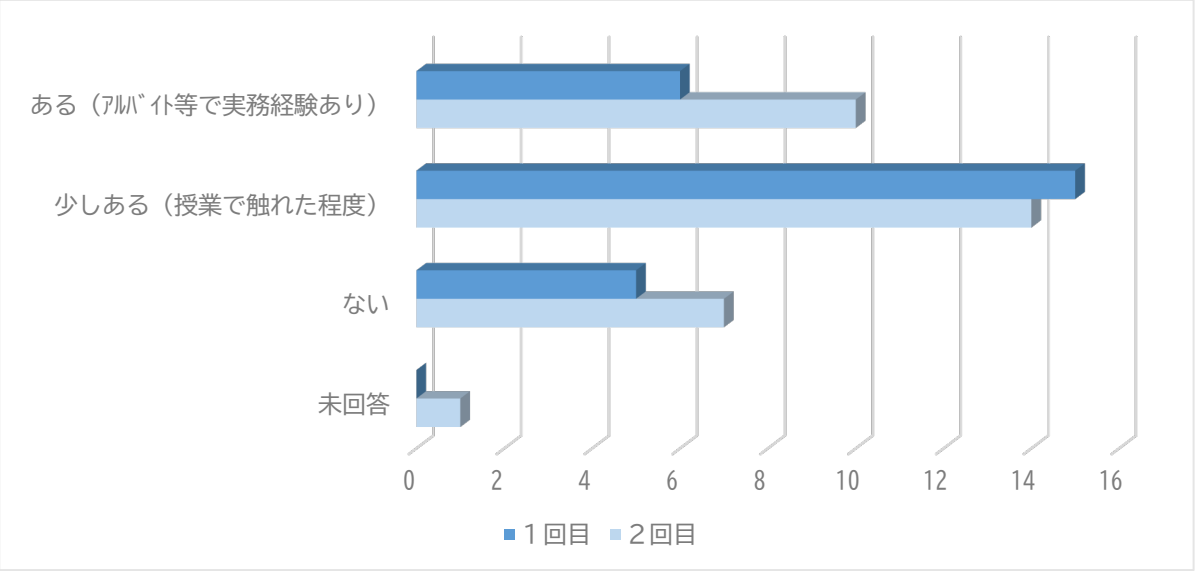
2 回目

・　ボタンを押すだけで簡単に情報が出てくるから。
・　県内だけでなく、外国のデータももう少しほしい。
・　慣れるまで少し時間かかったけどすごかったです!
・　使い方が分かれば使い分けることができると思った。
・　もう少しグラフなどが分かりやすければ授業で使いやすいと思いました。
・　観光客数や宿泊数などいろいろあって分かりやすかった
・　RESAS から情報を読み取ることができた。
・　見ただけでとこに集中しているとかが分かりやすかった。
・　機械音痴なので、メッシュマップとかの表示の仕方、条件のしぼり方が少しむずかしかった。
・　将来をシミュレーションできるからです
・　言葉が難しかった。
・　使いやすかった
・　使いやすかった
・　分かりやすかったです。
・　自分が住んでいる地域や県、その他の海外でも調べてみたいです。
・　表やグラフがあって分かりやすいです。
・　ボタンを押しただけでグラフが出てくるから
・　むずかしかった
・　何とも思わなかったから
・　シンプルで見やすかった

・　使いたいのがないときもあった
・　企業の方に教えてもらいながら使えました。
・　わかりやすい
・　普通に使いやすいのもあった
・　データが見づらかった
・　すこしデータのグラフが見づらかった

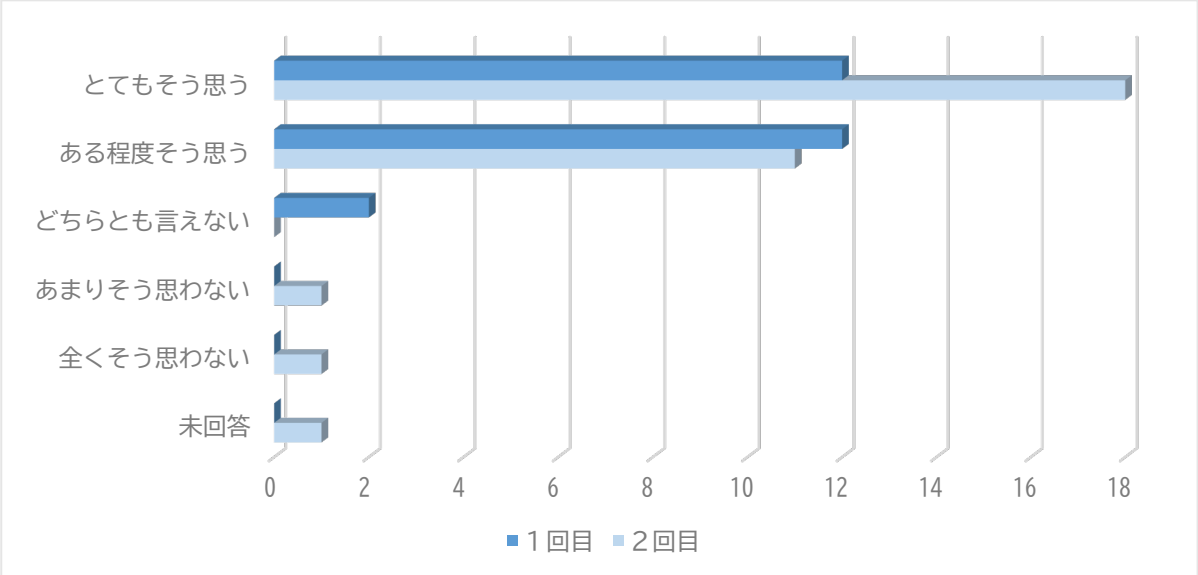
Q4　これまでにデータ分析(Excel グラフ、簡単な統計　等)の経験はありますか

	1回目	2回目
ある(ｱﾙﾊﾞｲﾄ等で実務経験あり)	6	10
少しある(授業で触れた程度)	15	14
ない	5	7
未回答	0	1



Q5　本日の授業内容は、将来の仕事に役立ちそうですか

	1回目	2回目
とてもそう思う	12	18
ある程度そう思う	12	11
どちらとも言えない	2	0
あまりそう思わない	0	1
全くそう思わない	0	1
未回答	0	1



《その理由》

1回目

- IT を使って観光の課題を解決できそう
- 使うことでいろんな情報を見ることができるから
- 観光について深く考える事ができるかなと思った
- 観光で栄えるにはどのように対策をしたらよいか考えるきっかけになりそうだからです。
- 観光業に就職したら役立つと思います
- どこに人が来るのかを見れるからどのお店でもこれを利用できると思った
- データをうまく使えるようになって役立てていきたいです
- RESAS を使って、統計を立て将来の観光とか、色々なものに活かせそうだと思いました。
- 観光業につくひとは将来どのようにしたらいいか考えることができるから
- 生きていく上でしつような事をならった気がするから。
- 困ったときは使ってみる。

- そんなしょくぎょうじゃない
- 就く仕事によっては必要な場面もあると思ったから
- まとめる仕事をすることもあると思うから
- どの商品が売れているかなどの分析をするとき役立ちそうだと思いました。
- 観光業でなくても使えそう！
- パソコンだから事務系だから
- どんなお客様を対象にできるかを分析できるから
- 自分の将来のことについても RESAS を知ることができる為とても役立つ。
- どんな仕事でも使うと思うから良かった。
- いつか使うと思うから。
- 将来データをあつめてパワポを作る機会があるかもしれないので役立った。
- 活用できそう
- 保育系の仕事につくのであまりつかわないきがします。

2 回目

- いろんな情報を集めて、自分たちで考えたことができるのかを導き出す力が少しついたと思うから。
- 県や国、地域別のニーズを確認し、今後の観光業の課題解決に使用できると思ったから
- 将来を見据えて、観光客の問題とかも考えながら、RESAS を使うと、役立つと思います。
- RESAS を使えば観光客だけじゃなく地域住民人口も分かるのでどの店舗でも利用できると思う。
- パソコンを使うこともあるので、少しは役に立つと思います。
- 今日学んだことを活かし、地域活性化などに貢献したいと思った
- 考える力が身についたと思うからです。
- 空港で働くので観光の事が分かると役立ちそうだと思いました。
- もし何か商売で困ったりそれ以外でも何かしら使えそうだと思う。
- 自分の意見を伝えたい際に相手に納得させ、関心持たせられると思ったからです。
- どういうお客様が何を買うかなどのデータ分析をすることで、そこから解決策や課題などに活用できると思ったから。
- 今後のことを学習したから
- 色々なグラフに分かれていて見やすいから
- 自分の考えをまとめて説明することは将来に役立てると思うから。
- 仕事についた時どの地域が多いのかを調査して活かしていきたいです。
- 観光のことについて調べるときに役立ちそう。
- 将来パソコン使ってまとめる時に使えそう。
- これからも使っていけそう

- デスワークなどで
- リーサスを活用して観光業に活かした
- 観光系ではないのであまり使わなさそう
- みんなが何をよくかっているかとかが分かるから
- 観光の仕事には就かないので分からないですが、リーサスの調べ方が分かりました。
- レイアウトの勉強になるから
- 観光科だから
- 普段からオーバーツーリズムについて感がないから役に立つと思う
- 観光について知れたから
- 色んなことに使うと思う
- 沖縄は観光について知るべきだと思うから。

Q6 授業で一番印象に残ったことを教えてください（自由記述）

- 他グループの発表です。沖縄のことについて調べている人が多かったのに、こんな課題もあったと考えさせられました。またみんなの考える対策も良くて楽しかったです。
- RESAS の観光地条件や事業所条件を選択してマップやグラフで見れる便利さにびっくりしました。
- RESAS を使った際にメッシュマップだけでなく、グラフや分布図を使えることがすごいと思います。
- RESAS を使うことでオーバーツーリズムの対策を出せるということが印象に残った。そして、スライドにグラフをまとめることでさらに分かりやすくまとめられたので良かった。
- 貴重な時間を使って RESAS の使い方、こうすれば分かりやすいとか知る事が出来たので良かったと思います。オーバーツーリズムについて沢山調べる事が出来ていい経験になりました。
- オーバーツーリズムについて考え、プレゼンを作りながらいろんな視点で考えることができて将来に活かせると思いました
- グループで協力して、スライを制作して発表までできて楽しかったです。
- 今まで考えたことがなかったので自分達で対策を考えたのが印象に残っています。
- 自運が実際課題解決のために考えたアイデアか提案を行ったときの、将来のシミュレーションができ、かつ数値化できるというところです。
- インフル心配パワポ楽しかった。
- みんなのパワーポイントの発表をきいたとき
- 発表です。
- 発表が緊張したけど楽しかった。
- インフルの方。ちゃんと治ってはやく万全になってください。
- グループで、プレゼンを作ったことです。2人だけでしたが協力してやりとげることができました。
- プレゼンがんばった。
- リーサスを見てデータを調べたこと
- やはり、リーサスを使ってやるのが印象に残りました。
- リーサスを使ってパワーポイントを時間内に作ったのですが少し難しく、でもリーサスの使い方が分かったので良かったです。
- 自分で一から課題を考え、そこから自分達解決策を考えるのは楽しかったし経験になった
- リーサスを初めて知りました。沖縄にいるのに観光客には無関心だったのでおもしろかったです!
- オーバーツーリズムについてよくわからない解決策など自分達が先生と考えることができたのでよかったです。
- 今日行った、班のみんなと調べ、それをパワーポイントにまとめて発表することです。
- みんなで RESAS を使って考えパワーポイントを作り発表したことです。

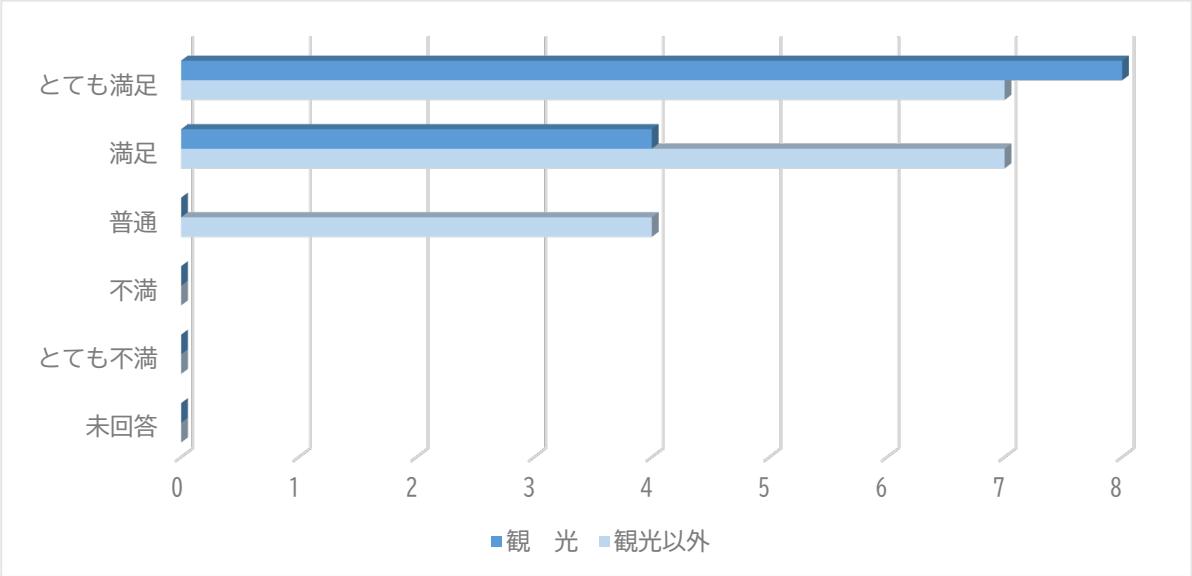
Q7　今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）

- 講師の方々と先生たちの説明を統一してほしいです!
- 流れを説明する際に、1つの具体例として講師の方や他の方が作ったパワーポイントなどの資料を見たいです。
- 最初は少しむずかしかったので、RESAS を使ってのスライドにたくさん時間をかけて先生方に聞いたりして考える時間が多い方が良いと思った。
- 最初は理解できていなかったから例のスライドでまとめたものを見せてくれた方が良いと思った。
- 楽しかった!
- 発表の準備時間を増やす。
- おもいつかない
- 特に大丈夫です。
- なし
- 特になし
- とくになし
- 特になし!
- なし!
- 今のままでじゅうぶん完ぺきです
- 特になし
- 課題をきめるのがむずかしかった
- もうちょーっとわかりやすく説明をよろしくお願いいたします
- 特にないです

アンケート詳細（観光、観光以外比較） ※クロス集計（進路×〇〇）

Q1　授業の満足度について教えてください

	観　光	観光以外
とても満足	8	7
満足	4	7
普通	0	4
不満	0	0
とても不満	0	0
未回答	0	0



《その理由》

観光

- 自分達の発表を最後までできたから。
- リーサスを使って色々調べる事が出来た
- プレゼンを作ってオーバーツーリズムについて考えることができた
- これから先知らなかったであろう知識が増えた。
- たのしかったから
- たくさん話しながら教えていて色々なこと知れました。
- リーサスの使い方が学べたから。
- 楽しかったから
- とてもわかりやすく、優しかった
- 進学席でやるのに似てた

・　沖縄の観光地について知ることができた
・　知らなかった RESAS のデータとか使えるなと思った

観光以外

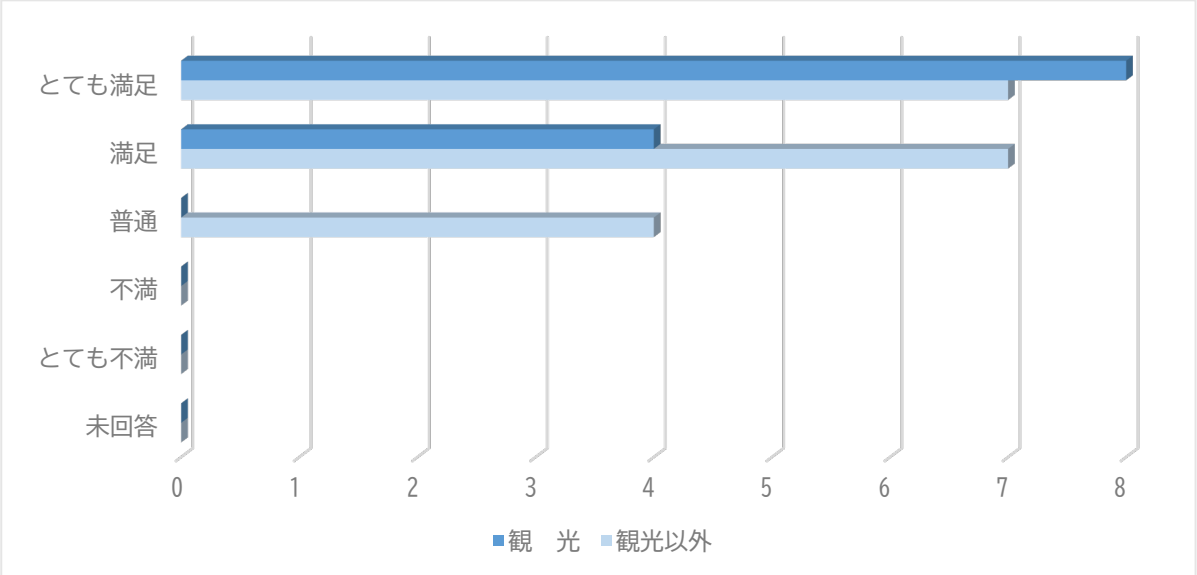
・　自分たちでしっかりと発表まですることができたから。
・　1日間はけっこうむずかしかったけど、2日目グループで考えて体験することができたので良かったです。
・　前回より活用の仕方が分かったのでスライドもまとめられるようになった。
・　グループで協力して発表できて楽しかったです。
・　自分であまり考えの方法を他のグループから聞けて楽しかった。
・　データの活用法やプレゼンテーションに直結する内容でそれの関心が高まって自分でもっと勉強したいと思いました。
・　準備時間が少なく満足な発表ができなかった
・　発表たのしかった
・　リーサスという便利なものを知れたから
・　RESAS を使いこなしてグラフのだし方を理解することができました。
・　普段しないから
・　使ったことのないリーサスをつかってせつめいしたから
・　むずかしかった
・　少し難しかったです。
・　自分達で実際に調べてパワポを使って発表するのは良い経験になった
・　わかりやすい
・　オーバーツーリズムについて知れた

無選択

・　自分達で沖縄の課題をじっくり考えることができたから。
・　説明が良いと思った

Q2　授業の理解度について教えてください

	観　光	観光以外
とてもよく理解できた	4	8
理解できた	6	4
普通	2	6
あまり理解できなかった	0	0
全く理解できなかった	0	0
未回答	0	0



《その理由》

観光

- 課題発見から解決に向けての取り組み内容が難しかった。
- どこにどれぐらいの場所があるのか、グラフも読み取る事が出来ました。
- RESAS を使って課題を見つけ、対策など考えることができた
- リーサスを使ってどんな情報やデータを得られるのかはちゃんと理解できた。
- りかいできたから
- 分かりやすく説明してよかったです。
- ちょっと課題も文章もむずかしかった。
- 少しわかった程度だから
- スライドがとても見やすかった
- オーバーツーリズム対策について色々しれた
- RESAS の使い方がわかった

・　対策など知れたから

観光以外

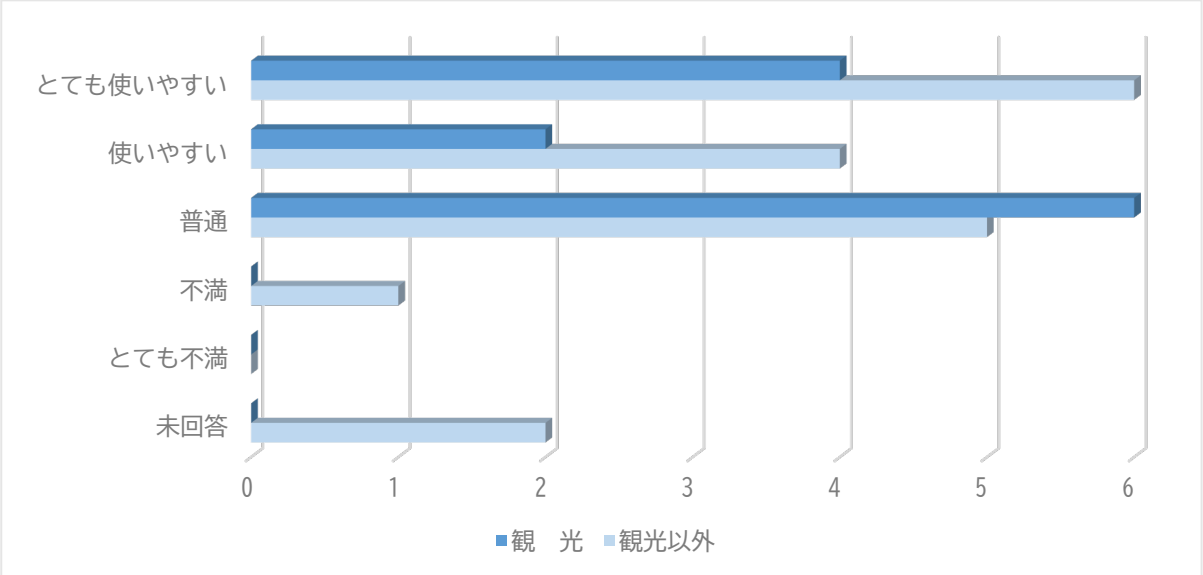
・　講師の方や先生たちが周りながら手伝ってくれたから。
・　先生方の力も借りながら、話し合ってできたので良かったです。
・　前回は RESAS を使うことで何が分かるのか理解していなかったけど活用法が分かった。
・　オーバーツーリズムの解決策について知れました。
・　もっと他の考え方や使い方もできるなと思った。
・　実際に自分が思いついたアイデアか提案を活用し、グラフなどで数値化できるから。
・　リーサスの機能は分かったけど使い方が難しかった。
・　ある程度理解できた
・　オーバーツーリズムの対策を良く理解できた
・　丁寧に RESAS の使い方や例を挙げてとても分かりやすい授業でした。
・　たくさん説明してくれたから
・　すごくむずかしかったです
・　使い方がわかれば、やりやすかった
・　理解は少しできました。
・　説明が分かりやすかった
・　わかりやすい
・　むずかしい課題とかがたまにあった
・　難しかった

無選択

・　パワーポイントで図やグラフを使うことができた。

Q3　授業で使用したオリジナル教材の使いやすさについて教えてください

	観　光	観光以外
とても使いやすい	4	6
使いやすい	2	4
普通	6	5
不満	0	1
とても不満	0	0
未回答	0	2



《その理由》

観光

- 県内だけでなく、外国のデータももう少しほしい。
- もう少しグラフなどが分かりやすければ授業で使いやすいと思いました。
- 観光客数や宿泊数などいろいろあって分かりやすかった
- 機械音痴なので、メッシュマップとかの表示の仕方、条件のしぼり方が少しむずかしかった。
- 使いやすかった
- 表やグラフがあって分かりやすいです。
- ボタンを押しただけでグラフが出てくるから
- 何とも思わなかったから
- シンプルで見やすかった
- データが見づらかった
- すこしデータのグラフが見づらかった

観光以外

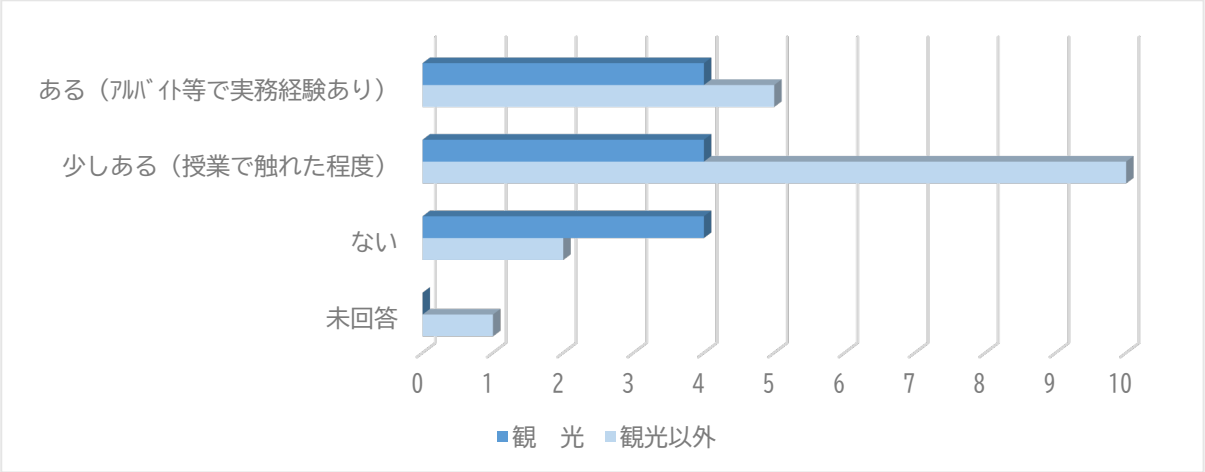
- ボタンを押すだけで簡単に情報が出てくるから。
- 慣れるまで少し時間かかったけどすごかったです!
- 使い方が分かれば使い分けることができると思った。
- RESAS から情報を読み取ることができた。
- 見ただけでとこに集中しているとかが分かりやすかった。
- 将来をシミュレーションできるからです
- 言葉が難しかった。
- 使いやすかった
- 自分が住んでいる地域や県、その他の海外でも調べてみたいです。
- むずかしかった
- 使いたいのがないときもあった
- 企業の方に教えてもらいながら使えました。
- わかりやすい
- 普通に使いやすいのもあった

無選択

- 分かりやすかったです。

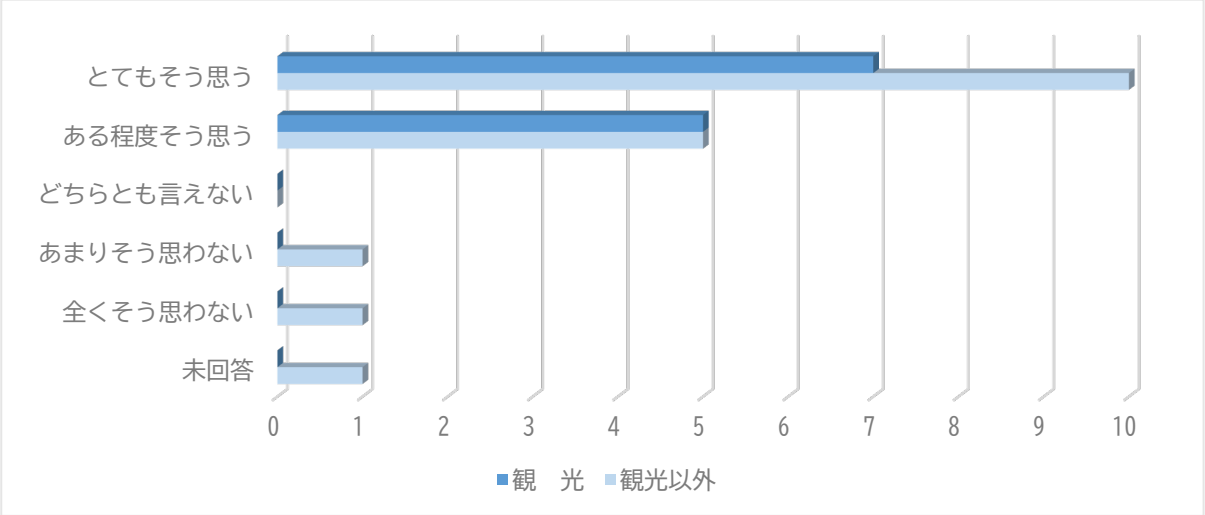
Q4　これまでにデータ分析(Excel グラフ、簡単な統計　等)の経験はありますか

	観　光	観光以外
ある(ｱﾙﾊﾞｲﾄ等で実務経験あり)	4	5
少しある(授業で触れた程度)	4	10
ない	4	2
未回答	0	1



Q5　本日の授業内容は、将来の仕事に役立ちそうですか

	観　光	観光以外
とてもそう思う	7	10
ある程度そう思う	5	5
どちらとも言えない	0	0
あまりそう思わない	0	1
全くそう思わない	0	1
未回答	0	1



《その理由》

観光

・　県や国、地域別のニーズを確認し、今後の観光業の課題解決に使用できると思ったから
・　パソコンを使うこともあるので、少しは役に立つと思います。
・　今日学んだことを活かし、地域活性化などに貢献したいと思った
・　もし何か商売で困ったりそれ以外でも何かしら使えそうだと思う。
・　今後のことを学習したから
・　観光のことについて調べるときに役立ちそう。
・　将来パソコン使ってまとめる時に使えそう。
・　デスワークなどで
・　リーサスを活用して観光業に活かした
・　観光について知れたから
・　沖縄は観光について知るべきだと思うから。

観光以外

・　いろんな情報を集めて、自分たちで考えたことができるのかを導き出す力が少しついたと思う

から。

- 将来を見据えて、観光客の問題とかも考えながら、RESAS を使うと、役立つと思います。
- RESAS を使えば観光客だけじゃなく地域住民人口も分かるのでどの店舗でも利用できると思う。
- 考える力が身についたと思うからです。
- 空港で働くので観光の事が分かると役立ちそうだと思いました。
- 自分の意見を伝えたい際に相手に納得させ、関心持たせられると思ったからです。
- どういうお客様が何を買うかなどのデータ分析をすることで、そこから解決策や課題などに活用できると思ったから。
- 色々なグラフに分かれていて見やすいから
- 仕事についた時どの地域が多いのかを調査して活かしていきたいです。
- これからも使っていけそう
- 観光系ではないのであまり使わなさそう
- みんなが何をよくかっているかとかが分かるから
- 観光の仕事には就かないので分からないですが、リーサスの調べ方が分かりました。
- レイアウトの勉強になるから
- 観光科だから
- 普段からオーバーツーリズムについて感がないから役に立つと思う
- 色んなことに使うと思う

無選択

- 自分の考えをまとめて説明することは将来に役立てると思うから。

Q6　授業で一番印象に残ったことを教えてください（自由記述）

観光

- RESAS の観光地条件や事業所条件を選択してマップやグラフで見れる便利さにびっくりしました。
- 貴重な時間を使って RESAS の使い方、こうすれば分かりやすいとか知る事が出来たので良かったと思います。オーバーツーリズムについて沢山調べる事が出来ていい経験になりました。
- オーバーツーリズムについて考え、プレゼンを作りながらいろんな視点で考えることができて将来に活かせると思いました
- みんなのパワーポイントの発表をきいたとき
- グループで、プレゼンを作ったことです。2人だけでしたが協力してやりとげることができました。
- プレゼンがんばった。
- みんなで RESAS を使って考えパワーポイントを作り発表したことです。

観光以外

- 他グループの発表です。沖縄のことについて調べている人が多かったのに、こんな課題もあったと考えさせられました。またみんなの考える対策も良くて楽しかったです。
- RESAS を使った際にメッシュマップだけでなく、グラフや分布図を使えることがすごいと思います。
- RESAS を使うことでオーバーツーリズムの対策を出せるということが印象に残った。そして、スライドにグラフをまとめることでさらに分かりやすくまとめられたので良かった。
- グループで協力して、スライを制作して発表までできて楽しかったです。
- 今まで考えたことがなかったので自分達で対策を考えたのが印象に残っています。
- 自運が実際課題解決のために考えたアイデアか提案を行ったときの、将来のシミュレーションができ、かつ数値化できるというところです。
- インフル心配パワポ楽しかった。
- 発表です。
- 発表が緊張したけど楽しかった。
- リーサスを見てデータを調べたこと
- やはり、リーサスを使ってやるのが印象に残りました。
- リーサスを使ってパワーポイントを時間内に作ったのですが少し難しく、でもリーサスの使い方が分かったので良かったです。
- 自分で一から課題を考え、そこから自分達解決策を考えるのは楽しかったし経験になった
- リーサスを初めて知りました。沖縄にいるのに観光客には無関心だったのでおもしろかったです!
- オーバーツーリズムについてよくわからない解決策など自分達が先生と考えることができたのでよかったです。
- 今日行った、班のみんなと調べ、それをパワーポイントにまとめて発表することです。

無選択

・　インフルの方。ちゃんと治ってはやく万全になってください。

Q7　今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）

観光

・　流れを説明する際に、1つの具体例として講師の方や他の方が作ったパワーポイントなどの資料を見たいです。
・　おもいつかない
・　とくになし
・　特になし!

観光以外

・　講師の方々と先生たちの説明を統一してほしいです!
・　最初は少しむずかしかったので、RESAS を使ってのスライドにたくさん時間をかけて先生方に聞いたりして考える時間が多い方が良いと思った。
・　最初は理解できていなかったから例のスライドでまとめたものを見せてくれた方が良いと思った。
・　楽しかった!
・　発表の準備時間を増やす。
・　特に大丈夫です。
・　なし
　なし!
・　今のままでじゅうぶん完ぺきです
・　特になし
・　課題をきめるのがむずかしかった
・　もうちょーっとわかりやすく説明をよろしくお願いいたします
・　特にないです

無選択

・　特になし

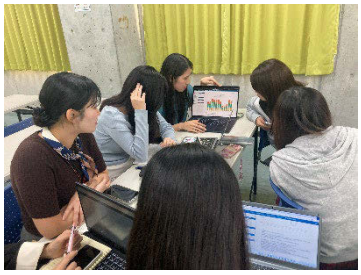
2)専門学校生向け RESAS 実証授業アンケート調査

概要

対象	学校法人 KBC 学園 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ （計 1 回目:39 名　2 回目:34 名） ・外語ビジネス科 2 年生(1 回目:8 名　2回目:6 名) ・グランドスタッフコース 2 年生(1 回目・2 回目 9 名) ・キャビンアテンダントコース 2 年生(1 回目:18 名　2 回目:15 名) ・キャビンアテンダントコース 3 年生(1 回目・2 回目 4 名)
回答率	100%
実施時期	1 回目‥令和 7 年 11 月 13 日(木)13:05～15:40 2 回目‥令和 7 年 11 月 27 日(木)13:05～15:40
調査項目	1. 授業の満足度 2. 授業の理解度 3. オリジナル教材の使いやすさ 4. データ分析経験 5. 将来への展望 6. 印象に残ったこと(2日目のみ) 7. ご意見・ご提案(2日目のみ)
調査方法	質問票配布による回答
回答時間	約 3～7 分

授業風景

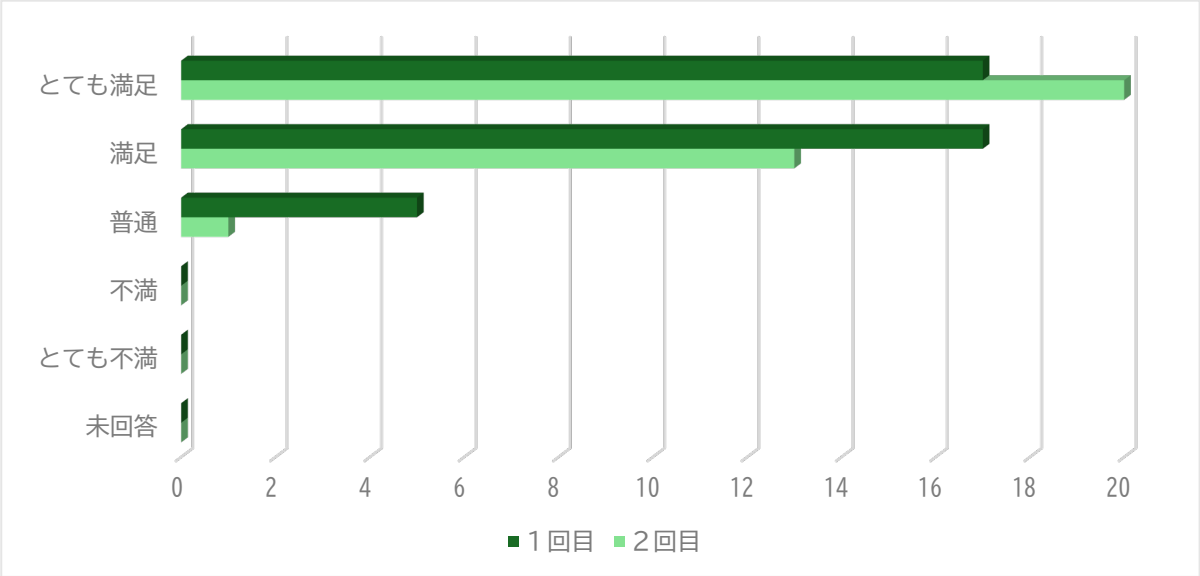


アンケート詳細（1 回目、2 回目比較）

Q1　授業の満足度について教えてください

	1回目	2回目
とても満足	17	20
満足	17	13
普通	5	1
不満	0	0
とても不満	0	0
未回答	0	0



《その理由》

1 回目

- 各企業は全てデータに基づいて成り立っていることが理解できた
- RESAS のことについて知れた
- 分析は大切だと思いました。
- 初めての事だったけどとても役立てる物だと思ったから。
- データを基に現状の社会を知ることが出来ました。
- 自分が今まで知ることのなかったデータを簡単に見ることができて楽しかった
- 普段データのこととか考えてないから新しいことに挑戦できてよかった。
- 講師の方がグループワークを通した分かりやすい実践だったのでより分かりやすかったです。
- データを使う授業はこんなに触れたことがなかったから。
- 普段触れない内容だけど身近に感じる内容で、かつ説明が分かりやすかったから

・　将来にもつかえそうな事でした。今回も活用したい。
・　話し方が上手で聞きやすく、今までの調べ学習よりも楽しめた
・　観光についてのデータや、沖縄の現状がわかるデータを知ることができた。
・　新しいことを知り、今後にも活かすことができる授業だと感じた。
・　初めてのデータ分析で何を理解して行動したらいいのか分かってなかった。
・　初めてこのような授業を受けられてとても学びが深まった。
・　内容が難しかった
・　データを読みとるのが意外と難しかった
・　個人で質問をきく時間があった
・　これから使えそうなサイトを知れた
・　今まで知ることがなかった統計、計画を知ることができた
・　まだ完全には使いこなせてないから
・　普段やらない授業
・　初めて RESAS のことも知れて、これからの調べものにも役立つと感じた。
・　情報の読み取り方や考え方を学べたから。
・　データ分析について詳しく学ぶことができた。
・　RESAS の活用で様々な情報を収集できると思った。
・　分析すると今まで知らなかったことが分かった
・　新しい知識を知れた
・　初めて知ることが多く楽しかったです。
・　一つ一つ丁寧に教えてくれた
・　丁寧に説明してくれた
・　もっと詳しく聞きたかった（使い方など）
・　知らなかった事を知れたから
・　グループ授業で出来るのは楽しくて良かった。
・　データの大切さがわかった。
・　初めてパソコンでの情報の見方が分かった為。
・　初めての取り組みでしたがたのしかったです。

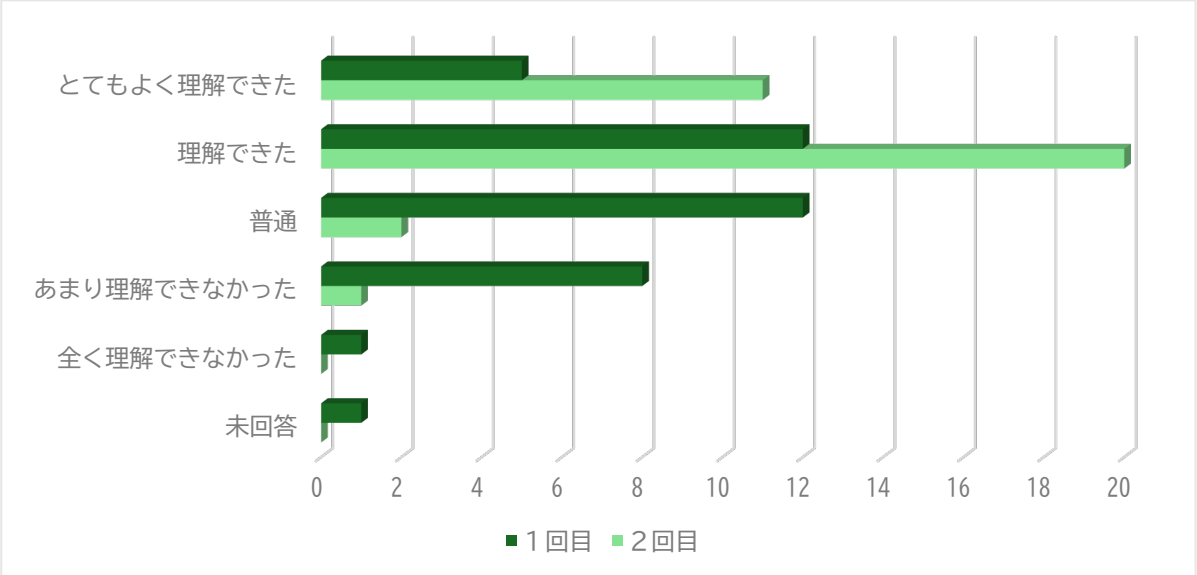
2 回目

・　普段学ばない分野でもあり、実際に自分で使ってみるができたことがためになったからです。
・　先生側が親身にアドバイスを出して下さりパワーポイントを作成できた。
・　RESAS を使ってオーバーツーリズムについて考えることができた。
・　普段自分自身で触れない分野だったので、まずリーサスを知れて良かった。
・　2日間かけて RESAS について学ぶことができたから
・　すごく分かりやすく、充実していた

- 今回の学びは必ず社会人になって必要になると思う。
- ちゃんとグループで考えて発表できたので!!
- 初めてやることだったので楽しく学べました。
- 最初は難しかったけど為になった
- 調べるきっかけになったから（沖縄のことについて）
- 分からない部分を1から10まで教えてくれたから
- 新しい IT 技術を学ぶことができ、勉強になりました。
- 新しいことを学ぶことが出来て楽しかったです。
- 普段やらないようなパソコンを使っての授業だったから。
- 初めての取り組みでしたが楽しく取り組めました。
- 今まで習った事がないものだったので新しい知識を得られてとても良かった。
- データの面白い使い方が分かった
- オーバーツーリズムについて詳しく知れた。
- データからいろんなことを説明できて楽しかったです。
- グループワークで学べたので、理解しやすかった
- 今まで知る事のなかった観光客について知れて良かった。
- リーサスを使って今の世の中を改善しようという点にはすごく興味深かったです。
- 初めての授業で IT の授業とはこういうものだと知ることができたため
- リーサスを作って現状を知ることができた
- 理解できると少し楽になりました。
- 初めて知る内容で勉強になりました
- グループでパワポを作ったり意見交換することができた。
- 普段やらない事だったので新鮮だった。
- 他のグループの意見が聞けた。
- チームで課題解決が出来た。
- グループの意見を聞くのが新鮮で楽しかった。
- しっかり分析できた

Q2　授業の理解度について教えてください

	1回目	2回目
とてもよく理解できた	5	11
理解できた	12	20
普通	12	2
あまり理解できなかった	8	1
全く理解できなかった	1	0
未回答	1	0



《その理由》

1回目

- むずかしかったです。
- たくさんの都道府県の状況をみれてすごかった。
- 難しかった。
- データが見やすく理解しやすかったです。
- 初めは難しかったけど、条件をしぼるだけで見やすかった。
- 少しむずかしかった。
- 難しかったですが、楽しかったです。
- 理解できたが、普段情報集め→ターゲット、だけど今回はターゲット→情報集めのちがいが難しく感じた。
- 1度間違えた捉え方をしていたから、そこを開設していただき理解につながった
- 自分でデータを見つけて活用する、理解するのに時間がかかったが、先生の内容(話)は

とても理解できた

- 僕達が分からない時などに様子を見て再説明してくれた
- 初めてこの教材を使って、とても便利だし、周りの人にも紹介したい。
- まだ RESAS の使い方が慣れていないため
- どのように行動したらいいのか分かっていない。
- 使用方法は分かったが、分析や課題解決が難しかった。
- 時間の割に難しかった。
- 目的はすごく理解できたけど、まだ RESAS の使い方が難しい
- 少し難しかった
- グラフが苦手で、どのように分析すればいいのかが分からなかった。
- 分かった部分もあるがやや分からない部分もある
- 分かったり分からなかったりした
- ちょっと複雑だった
- 少し難しい所もあり、検索の仕方などが手がかかりました。
- このような授業は初めてだったので少し不慣れだったから
- 複雑で難しかった。
- 例もあったのでわかりやすかった。
- 分析するのが難しかった
- 少し難しかった部分があった
- RESAS も事を初めて聞き、知ったからです
- わかりやすく説明して下さった。
- 内容がむずかしかった
- なんとなく使い方は分かった
- 説明が分かりやすく質問にも丁寧に答えてくださったから
- 説明が分かりやすかった。
- 自分には難しかった
- 最初のかんたんな所は理解できたが、後半が難しかった。
- 少し難しい部分がありました。

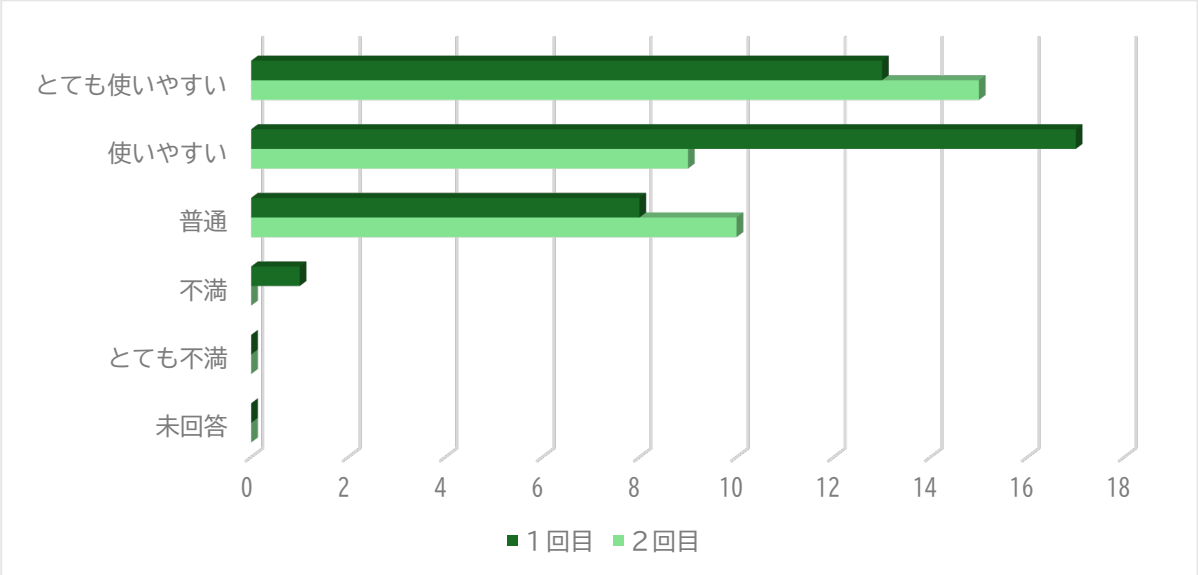
2 回目

- データを使う意義や活用法など府に落としながら理解することができました。
- まだ充分に理解できなかった。
- 交通面での課題の時に、RESAS ではデータがなく似ているもので探すのが少し大変だった。
- まだ完ぺきではないのですがある程度の使い方を知れた。
- 先生の話し方が理解しやすかったし、難しくてもおしえてくださったので安心できた。
- 少し順序など難しいと思う部分もあった

- 少し難しかったが、グループ活動を通して理解が深まった。
- グラフなどから分析して、そこから考察していく流れが身についた
- 初めは難しかったが、2日目には上手く使いこなせるようになった
- 自分でパワポを作成したことで理解できた
- 完全にリーサスを使いこなせなかった
- 自分で大事な要点をまとめて発表ができた
- RESAS の使い方を学び、データを探す方法が分かりました。
- 少し難しい所もありましたが理解はできた
- グラフや情報収集の仕方がスムーズにできた。
- 少し難しい部分もありましたが、全体的に理解できました。
- 発表準備の過程で理解度を深めることが出来た。
- 課題作りとデータの活用方法が分かった
- RESAS での調べ方が分かった。
- データのまとめ方の例があったらもっと分かりやすかった。
- パソコンが苦手でも分かりやすかったです。
- 分からない所は教えてもらった。
- リーサスについて初めて知ることができてもっと他の分野もみてみようと思った。
- 情報分析の仕方が少しずつ分かっていきました
- 理解できていない部分もあったので友達に聞いたため
- 作り方がわかった!
- 完璧には理解できなかったが、最初よりできた。
- 進めていくうちに理解できた
- 分析することで解決策が見えてくることが分かった。
- リーサスを使うことでジャンルごとのグラフがみれてよかった。
- 調べたりグラフを利用して授業できたから。
- 先週よりはどこを触ればいいのか理解できた
- 少しグラフの見方が難しかった。

Q3　授業で使用したオリジナル教材の使いやすさについて教えてください

	1回目	2回目
とても使いやすい	13	15
使いやすい	17	9
普通	8	10
不満	1	0
とても不満	0	0
未回答	0	0



《その理由》

1回目

- 少し操作が難しかったです。
- グラフや地図、数字全てみれるのはいい。
- 分析がしやすかったです。
- 沢山のデータがあって情報量がすごかった。
- リーサスの分析結果が細かな所にまで注目できて使いやすかったです。
- 自分の見たいものがすぐ見れる。
- 色とかもついてて分かりやすかった。
- 実際に RESAS を調べたので使いやすかったです。
- 理解しやすかった
- パッと見て分かりやすいから。
- 大事な内容だけをのせていて、見やすかったです。(あと先生の話も追加で)

- 高校の時から触れていた事もありやりやすかった
- データを見せると根拠ができるから。
- 初めての RESAS のページを見て使用回数が増えると使いやすくなると思った
- 見方も調べ方も話聞いても理解できなかった。
- 分かりやすくデータが出てくるが、出てこない場合もあった(グラフ)
- 沖縄についてでよかったと思う
- スライドの分かりやすさ。
- もう少し使い方を勉強したい。
- 分かりやすく、使いやすい
- データがたくさんつまっていて分かりやすかった
- 初めてだからこうゆうものかなと思った
- 検索すると目で見えて分かりやすく分析しやすかった。
- 様々なグラフがあり、県別やカラー別で分かりやすかった
- 見やすくて分かりやすかった。
- 見やすかった。
- まだ使いこなせなかった
- 使える幅が限られている為
- 見やすく、分かりやすかったです。
- 地域や都市別でこまかくみれるところ
- 初めてだったので何度か復習したら分かりそう
- 使い慣れていないので普通
- カラフルで見やすいと思ったから
- データ分析がしやすくてよかった。
- 項目があって分かりやすかった。
- 見やすかった為。
- 分かりやすかったです。

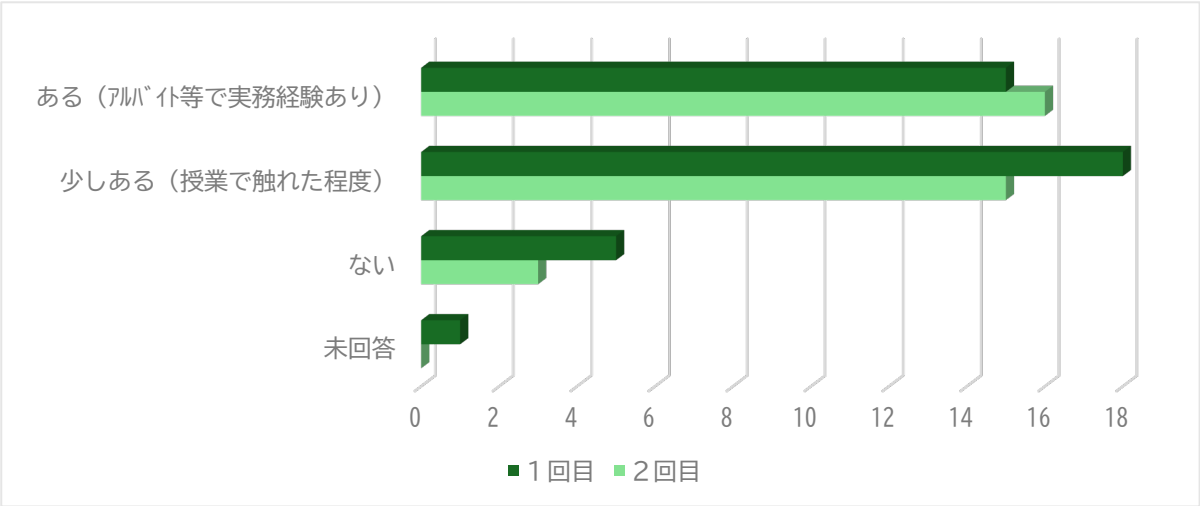
2 回目

- リーサスのサイトやパワーポイント(説明)はとても見やすかったです。見てすぐに理解できました。
- 誰でも使用できるのが良いと思った。
- データをスクショして貼り付けることができる為、スライドなどが作成しやすかった。
- 範囲などを設定すれば目に見えて使いやすい
- 見やすくて理解しやすかったので良かったです。
- 見やすく、分かりやすかった
- データがとても分かりやすいが、調べられないこともあった。
- 欲しい情報がないときもあった!けど、分野が多くて浅い!

- テーマが少し難しく感じた
- 自分の調べたいことがすぐ分かった
- 簡単で分かりやすいのがあれば、先生に聞かないと分からないものがあった
- ポンポイントで調べものができるので使いやすいです。
- ネットで１つ１つ調べるよりも便利でした。
- いろいろな情報がグラフになって見れるから分かりやすい。
- 分かりやすかったです。
- 今まで見たことがないデータで見たいものが見れて使いやすかった。
- 見やすくボタン一つで必要な情報が見れるから
- データをスクリーンショットできたり、グラフが色で分かれた為見やすい。
- 初めて使って慣れない中でしたが、良かったです。
- 色々な情報がのっていて、時間がある際、みてみようと思った。
- 情報がありすぎて最初は戸惑いますが、不便はなかったです。
- 操作に少し戸惑ってしまった
- 知りたい地域や都市、細かい所まで区切って知ることができた
- 使いこなすのは難しかった。まだ全て使用できなかった。
- 少しむずかしかったがやっていく内に理解できた
- いろんな種類の統計があって、日頃からチェックしてみたい。
- いろんな統計がみれて使いやすかった。
- 地域別での資料をみれて便利だった。
- グラフがカラーでみやすかった。
- テンプレがあればもっといいなと思った。
- 使いやすいと思う。

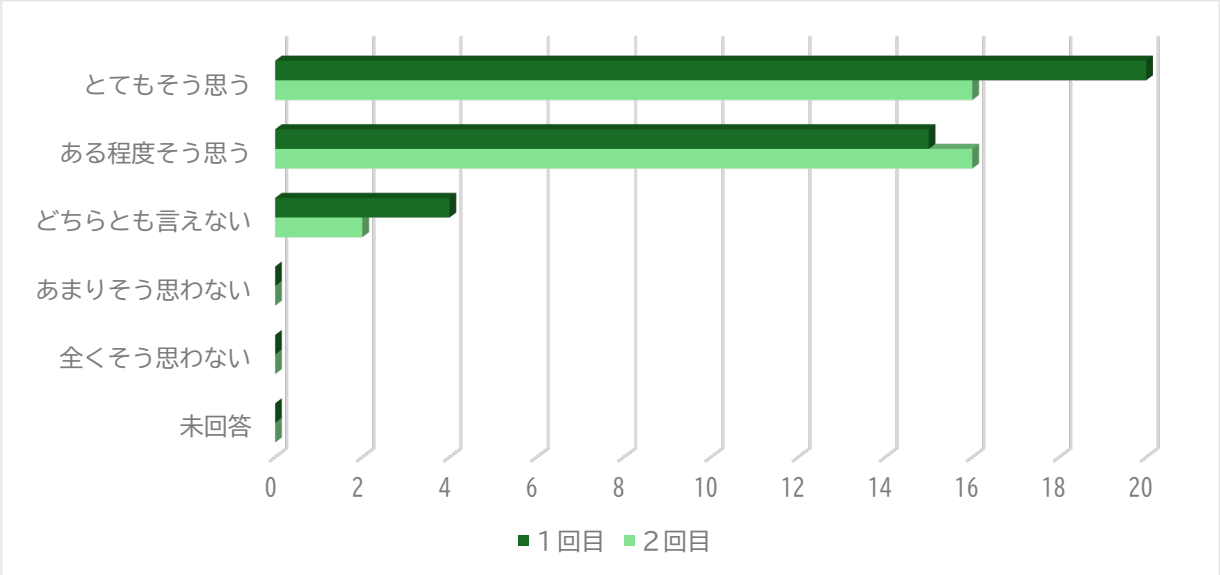
Q4　これまでにデータ分析(Excel グラフ、簡単な統計　等)の経験はありますか

	1回目	2回目
ある(ｱﾙﾊﾞｲﾄ等で実務経験あり)	15	16
少しある(授業で触れた程度)	18	15
ない	5	3
未回答	1	0



Q5　本日の授業内容は、将来の仕事に役立ちそうですか

	1回目	2回目
とてもそう思う	20	16
ある程度そう思う	15	16
どちらとも言えない	4	2
あまりそう思わない	0	0
全くそう思わない	0	0
未回答	0	0



《その理由》

1回目

- 観光マーケティングに興味があるから。
- 情報を探す力とそれをまとめる力、そして分かりやすく説明する力が身につきそうだなと思いました。
- 分析することで将来性が見えてくると思った。
- 分析力が身につくと思う
- リーサスの経済分析データを基に、今後の計画を立てる時に便利だと思いました。
- 数字に強いと上手くいくと聞いたことがあるから。
- 今はいたるところでデータとか必要だなと思うから。
- 仕事での問題解決につながると思います。
- データには説得力があるので使用したい！！
- 大きな視点で会社を捉え、マーケティング等に生かせそうと思った

- 観光業で働くので、観光客の行動範囲や目的がわかって、とても活用しやすいと思った
- 自力ですべての情報をまとめるのは難しいが、これだと簡単に調べられるから
- 沖縄にはどこの地位から来る人が多いのか将来知る機会がある時に使いたい
- 情報収集やグラフを作る際に良い参考になると思う。
- 将来このようなデータを使う仕事か分からない。
- 課題解決のために分析する力は必要だから
- 使わなくても生きていけそう。
- データによってお客様が求めているものなど考える材料になりそうだから。
- 情報を収集したり色々なことに使えそう
- どのようにしたら会社が伸びるか考えるのに役立つ。
- 将来の分析などに使えそう。
- どうゆう場面で使うのかまだ分からないから
- 今の所は使わない
- 机仕事についた際は資料調べに役に立つと感じた。
- 最近情報がデータ化されているので、仕事などでもデータを元に分析したり対策を考えると思うから
- 観光客数のデータを元に就航地を増やしたりできそう。
- 観光客についての情報収集について細かく調べることができるのでとても役立つと思う。
- 仕事で使えると思った
- 仕事ではデータが大切だと知った
- 航空業界でもデータ等の知識は必要になってくるからです。
- 将来事務の仕事などでつかえると思いました。
- これから情報社会になると思うから
- 観光業界でこのデータは役立つと思う
- 会社に貢献できる材料となり得ると思ったから
- 統計だったり分析したい際に役立つと思う。
- 観光業に就くから。
- データは今後のためになるから。
- 沖縄の観光について調べられるから。
- 将来に役立つと思います。

2 回目

- 新しい路線の導入や機材導入等で使えそうだなと思いました。
- マーケティングに興味あるから
- パワポ作成の時にデータを扱いやすいため、将来の仕事で役立ちそうと思います。
- デスク業務に切り替わった際、今回のリーサスやパワポの流れは役立ちそうです。

- 仕事で根拠が必要になった時など、会議でも使えそうだと思った。
- グラフで可視化することで理解しやすかったので役立つと思う
- 課題解決や、データにもとづいた意見をプレゼンする力は大切だと思う。
- 顧客のニーズなどについて調べやすそう
- 観光業につくのでいつかは絶対役に立つと思う。
- いつかどこかで使えると思う。
- 将来は観光業に就くと思うので使えそう
- 将来、観光情報にふれれる。
- 観光業界で重宝される RESAS を使って今後に活かすことができると思いました。
- パソコンやデータ分析はどこの業界でも必要になってくるからです。
- 問題の解決策を考えて、できる取り組みを調べれたから。
- 観光業界の現状を今後も調べて仕事に活かしていきます。
- 答えがハッキリしない問題を考えていく上で役立つと思った。
- 就職する企業の職務の内容によっては使わないと思う
- 最終的に沖縄の観光に結びつくので知ってて役に立ちそうです。
- 将来、自分自身がパソコンを使ってデータ分析してる想像ができなかった。
- 若者が知っておかないと今後の未来が大変になると思うから。
- 情報社会でもあるので、今後も活用していきたいです。
- 観光業界で働くかもしれないから役に立つと思う
- 今後パワポを使う仕事で役立つと思った
- 観光に関わることを知れる
- 情報を集めやすいと思った
- 分析とかプレゼンとかで使えそう。
- プレゼンの仕方が分かった
- データ分析として役に立ちそう。
- 少なくとも自分がこれから使うとは今は思わないです。
- データ分析は顧客集客に使えそう。

Q6　授業で一番印象に残ったことを教えてください（自由記述）

- データを使うと、説得力が増しましたし、自分自身の理解の深まりも一気に良くなったことです。
- 思った以上に自分でも発表ができるまでに早く達することが自身になりました。
- 初めて RESAS に触れる中で、データを拾ってパワポを作成するのは少し大変だったけど、慣れてくると使いやすいなと印象に残りました。
- オーバーツーリズムです。ニュースなどで見る機会はあったのですが、自分たちで課題を見つけて、その対策法を考えるということを通して少し沖縄についても調べて知れたので一番印象深いです。
- 最後に自分たちで問題についてプレゼンすることです。実際にある問題なので、よく考えて、たくさん RESAS を使って調べたりしたので、私たちがちゃんと使いこなしていたので良かったし、印象にも残りました。
- 短時間で話し合ってまとめる作業が大変だと思っていたけど、意外とできたことに驚いた。
- ピンポイントなデータも調べることができたこと。
- 県別や年齢別で分かりやすく情報がすぐ手に入る技術はすごく便利だと思ったし、そこから皆で考察することで考えるきっかけにもなった!
- リーサスで人の動き、観光についても細かく調べることができる
- 初めて RESAS を使用して、普段は知ることのなかったデータの数値を知ることができた。
- 名護に空港を作る発想が無かったからびっくりした。
- 沖縄に来る観光客より、沖縄宿泊する人が圧倒的に多かった
- REESAS で一番消費されているものをランキング形式で見ることができて面白かったです。
- PPT でまとめて作る際に何の情報が必要でそれをどう使うのかなど皆で楽しくできましたし、沖縄に来ている外国人を見た時に意外な国も多く印象に残りました。
- RESAS から観光のことだったり、グラフを通してでの情報がみれて分かりやすいと思った。
- 最後のみんなの発表が印象に残りました。色んな方々の考えを聞くことが出来て良かったです。
- 地域別で本当に色々なデータを細かい部分まで見ることが出来る RESAS を初めて知ったのでそれが一番印象的だった。
- 最初、データの使い方をいまいち理解できなかったけど、2日目の授業では少し使えるようになったこと。
- 最後の発表でみんなの意見が聞けたし、こういう問題もあるんだと視野を広げることができました。
- グループで意見をまとめるのに時間かかりましたが、発表する事で、より頭にはいったのかなと思います。
- PPDAC サイクルを初めて知ることができて、今後もこのサイクルを活用していきたいと思いました。
- RESAS で探すの難しかった。

- 沖縄のオーバーツーリズム問題にけっこう深刻だと分かって、もっと地元民が問題解決に取り組もうと思いました。
- リーサスには、細かく情報がのっており、すごく探しやすかったです。今後も活用させていただきます。
- リーサスの仕組みがみてて面白かった
- 都市によっても訪れる観光客の国が違うこと。
- RESAS を使うとすぐに情報を得ることができる。
- RESAS を初めて知り理解でき使うことができたのが学びになった
- 他のグループのスライドがとてもみやすかったし、とてもおもしろい意見があったりで、あーなるほどとなったりしてとても良い勉強になった。色んな視点から沖縄を考えることができた。
- データや表などをもとに考えることは、とても良いことだと思った。
- リーサスを使ったこと
- グラフを利用して課題に向け皆で考えをまとめられたこと。
- あくまでも想定の課題にグループ全員が熱心になって考えてくれたこと。
- RESAS が誰でも無料で使える

Q7 今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）

- あと少し時間があれば先生からのグループ別の FB があれば良いなと思いました。ありがとうございました。
- パワポの例（発表例）を最初に見たいです。
- 本日は体調が悪い中ありがとうございました!!RESAS についてもっと知れるよう、これからも機会があれば使っていきたいです。改めてありがとうございました。
- 特にございません。東京からここまで足を運んでくださり、私たちの知恵の1つとなり、このような機会をくださりありがとうございました。ごゆっくりおすごしください。
- 先生の話は聞きやすく、理解できやすかったので楽しかったです!!
- 特にないです!ありがとうございました。
- 貴重な授業ありがとうございました。
- 特になし。楽しかったです。ありがとうございました!
- 初日のテーマをもう少し簡単や身近な場所にして頂きたいです。そうすると授業の内容が理解しやすくなると思います。
- このままで十分すばらしい
- もうちょい詳しく簡単な教材だったらうれしい
- 交通状況等も分かることができたら良いと思いました。
- もっと宿泊者だけでなく沖縄に空・海から入った外国の人を見せるといいなと思いました。
- 解決したい問題によって RESAS の使い方が良く分からないので、もっと幅広い使い方を教えてもらいたいです。
- ゆっくり休んでください!ありがとうございました。楽しかったです。
- 2日間お忙しい中本当にありがとうございました。
- モノレールなどの交通機関を考え直すべき
- 特になし
- 特になし
- 特になし
- 初めての人には少し難しかったので、もう少し時間があると良いのかと思った。
- 実際のデータをもとにすることは大切。
- 特にありません。

3）教職員向け RESAS 実証授業アンケート調査

概要

対象	インターナショナルリゾートカレッジ　教務・事務局
回答率	100%
実施時期	令和 7 年 12 月 19 日(金)13:00～16:00
調査項目	1. 主な担当科目 2. 教員経験年数 3. データ活用・統計・ICT 関連科目の担当経験 4. データを用いた授業の見通し 5. 教材の内容および構成の理解度 6. 教材の活用のしやすさ 7. 観光系教育における必要度 8. 担当科目に組み込めそうな場面 9. ご意見・ご提案
調査方法	質問票配布による回答
回答時間	約 7 分

授業風景







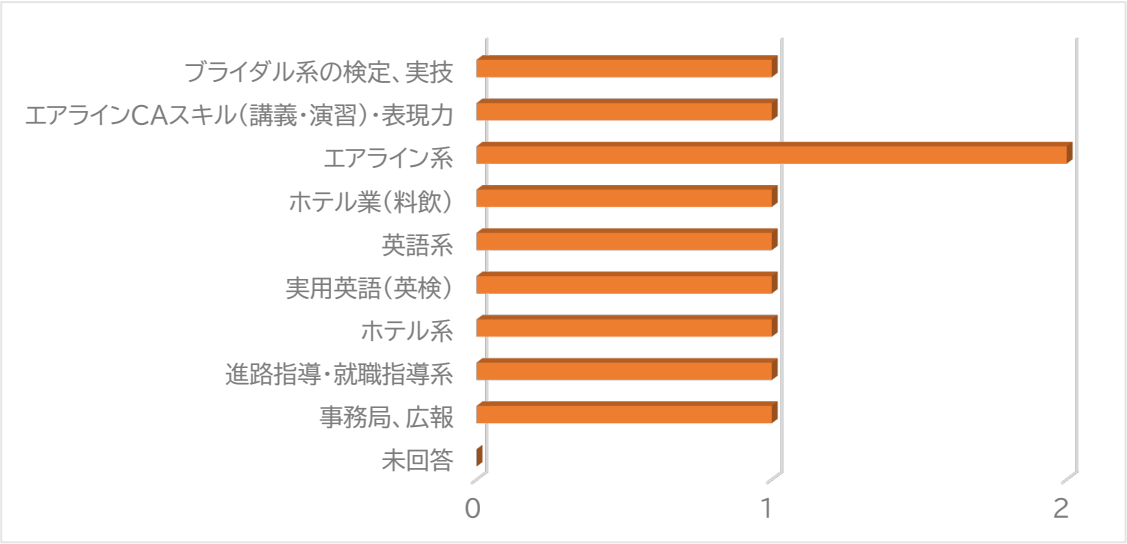


アンケート詳細

Q1　主な担当科目を教えてください

ブライダル系の検定、実技	1
エアライン CA スキル(講義・演習)・表現力	1
エアライン系	2
ホテル業(料飲)	1
英語系	1
実用英語(英検)	1
ホテル系	1
進路指導・就職指導系	1
事務局、広報	1
未回答	0

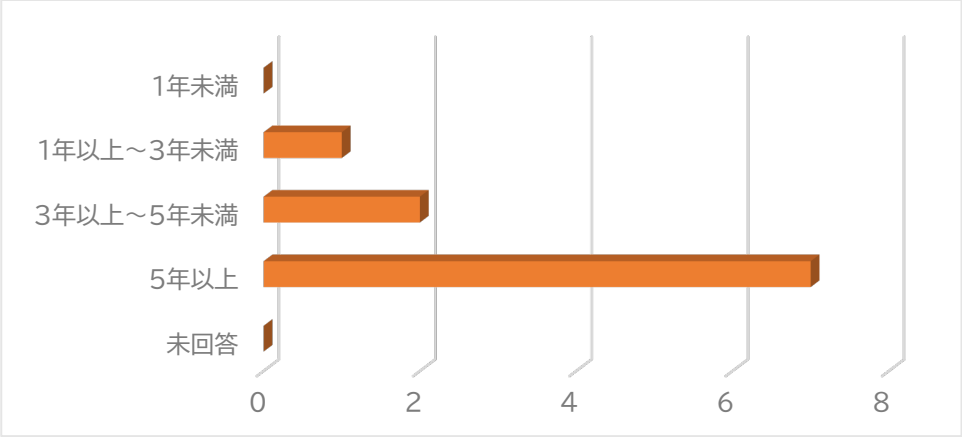
グラフ



Q2　教員経験年数を教えてください

1年未満	0
1年以上～3年未満	1
3年以上～5年未満	2
5年以上	7
未回答	0

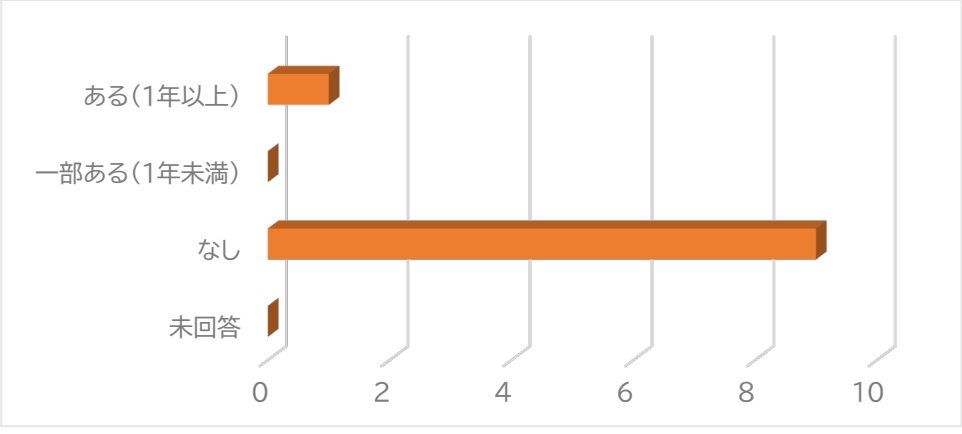
グラフ



Q3　データ活用・統計・ICT 関連科目の担当経験はありますか

ある（1年以上）	1
一部ある（1年未満）	0
なし	9
未回答	0

グラフ



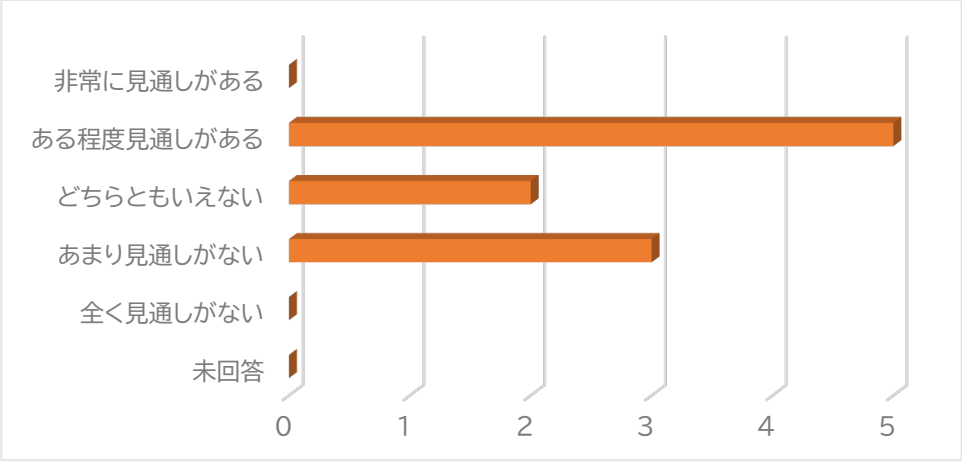
Q4　データを用いた授業を担当できる見通しについてお答えください

非常に見通しがある	0
ある程度見通しがある	5
どちらともいえない	2
あまり見通しがない	3
全く見通しがない	0
未回答	0

《その理由》

- 最後までたどり着けるのか不安
- 新聞記事などのメディア情報に対し、RESAS 等の公的統計データを用いて「裏づけがあるか」を照合する操作をおこなう。身近なニュースのデータ検索や立証をおこなうことによって学生に興味をもってもらえるのではないかと考えます。
- 観光地に訪問し検証する授業などで、事前に情報収集するために活用を検討しています。
- 申し訳ありませんが現状の授業や学生指導で余裕がないです。
- 昨年度、ホテル企業様より課題をいただき課題解決授業を実施済み。
  次回は、この課題解決授業の中に RESAS を取り入れ実施予定。※時期未定
- 今回の RESAS 活用の PBL 型授業などは導入の計画があるため
- RESAS 活用についてはある程度見通しが立ったが、そのほかのデータ活用についてや応用ができないと科目を担当するのは難しいと感じた。
- 普段、直接授業を持っていないため

グラフ



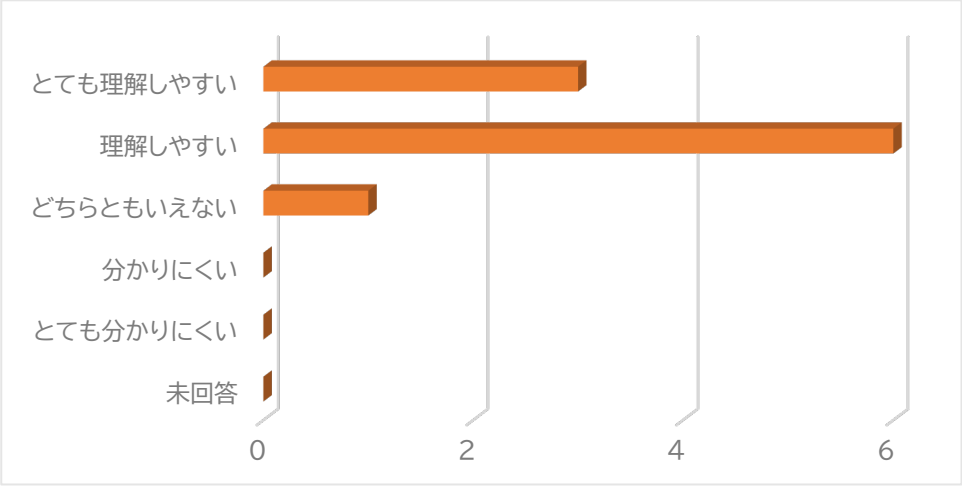
Q5　教材の内容や構成は理解しやすかったですか

とても理解しやすい	3
理解しやすい	6
どちらともいえない	1
分かりにくい	0
とても分かりにくい	0
未回答	0

《その理由》

- 苦手意識がある内容だったので、理解するまではいけませんでした。
- 以前に沖縄コンベンションビューローの方から大学におけるデータ活用の実践例を伺う機会があり、具体的な指導場面をイメージできていたため、教材の意図や構成を理解すること
- 沖縄の現状などが知れてわかりやすかったです。
- 説明があると理解はできますが、自身で触り出てきたデータの見方が難しい。
- 同時進行で授業を行っていただいたため。
- 操作方法や視覚化されたデータの見方についての解説は非常にわかりやすかったです。
- RESAS については理解を深めることができた。
- テーマの選定や授業進行方法が分かりやすい
- ICT に詳しくない学生が入学してきた場合（観光分野に興味がある学生）、もっと初歩的な内容から必要かも

グラフ



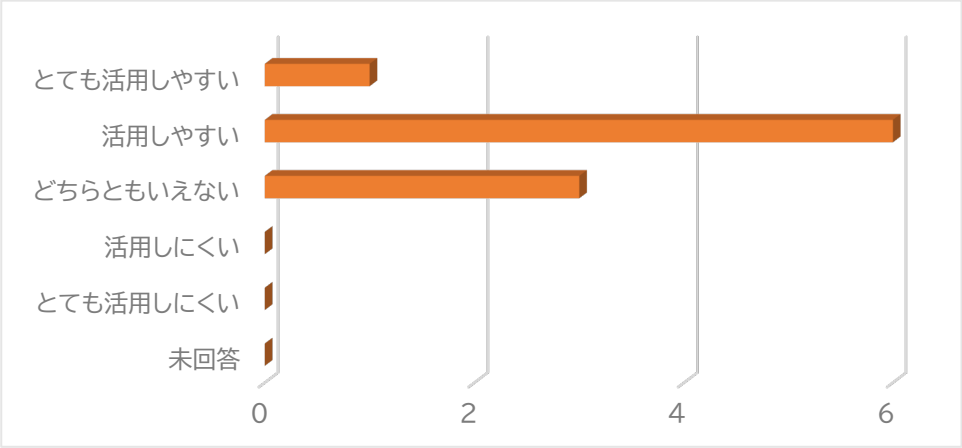
Q6　教材は授業で活用しやすいと感じましたか

とても活用しやすい	1
活用しやすい	6
どちらともいえない	3
活用しにくい	0
とても活用しにくい	0
未回答	0

《その理由》

- 教材の流れ通りにやると授業は進めやすいかと思いました。
- 教務がデータを可視化して提示することで、「現状の課題」を理解させるだけでなく、また学生自身が操作するアクティブ・ラーニングにも対応できるため、授業の内容に合わせて柔軟に活用できると感じます。
- 授業をする側になると、理解度が低く活用できるか心配しております。
- データを用いて非常にわかりやすかったです。
- 自分自身がデータを読み取るのに苦戦しているので、学生に説明が難しいと思いました。
- PC のクリック一つで情報が得られ、かつ身近な内容だったため。
- 現在担当している語学教育という分野では、直接的な活用は想像が難しいです。
- RESAS の活用については問題なくできそうと感じた。
- 観光がテーマであるので、これまでの経験を活用できる。他方 RESAS の操作方法に心配がある。
- 普段、直接授業を持っていないため

グラフ



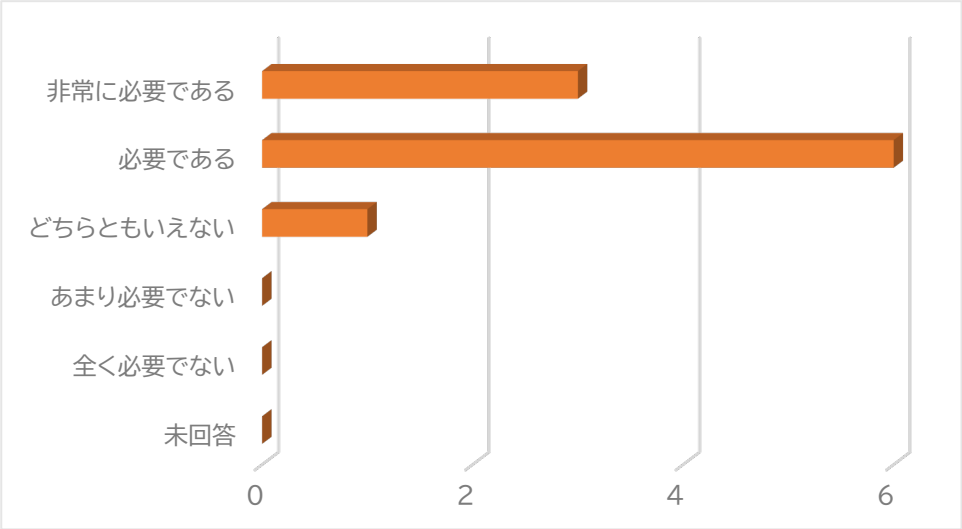
Q7 観光系教育においてデータを用いた授業はどの程度必要だと思いますか

非常に必要である	3
必要である	6
どちらともいえない	1
あまり必要でない	0
全く必要でない	0
未回答	0

《その理由》

- データを用いて考えることができるととても強みになると思いましたが、授業をするにあたっては学生に対して、新卒 1 年目からどう現場で活かせるのかをしっかり動機付けする必要があると感じました。
- 観光を学ぶ上で、データ活用は必要だと感じています。感覚だけではなく「数字」という根拠に基づき、今起きている問題を証明でき、解決策が見つかる可能性がある。ただ、学生が観光 IT をどれだけ理解し使いこなせるか、こちら側も工夫をする必要があると思います。データを使って物事を立証していく面白さを知ってもらうことが優先だと考えます。
- データがあることで、仮説を立てて物事に取り組むことができると感じました。
- 沖縄の現状、問題をディスカッションしながら取り組む授業はとてもいいと思う
- 研修の中でもありました、自分でデータを取りに行くことが良いなと思いましたが、期間や時間を考えるとデータ活用も参考にできるということと使い方を知るという事が必要だと思いました。
- 現代で必要不可欠な情報処理スキルだと感じているため
- 観光業界を目指す学生にとって、客観的なエビデンスに基づいたマーケティングを学ぶ事は必要であると思います。
- 観光業界（特にホテル）での IT 活用がまだ進んでいない現状で、教育現場だけでなく観光業界での IT 導入も同時に進める必要があると感じる。
- もはやデータ活用は、業界を選ばない。逆に取り組まないことで同業他社との大きな差異がでる。
- 接客の部分のおもてなしをする授業も大事だが、今後は企画やマーケティングなども必要になってくるから

グラフ



Q8　自分の担当科目に組み込めそうな場面があれば教えてください（自由記述）

- ブライダルの接客の授業で、データを用いて、お客様に対しての会話一例を考えたりできそうだなと感じました。
- 新聞活用授業では組み込んでみようと考えています。
- 観光地における問題点などを考える授業で仮説を立てる際に使えるかも知れません
- 那覇空港周辺の人口密度や月毎の利用者の詳細について
- 課題解決授業の中に取り入れている。
- インバウンドの県内での移動や滞在地域データなどがあれば英語街頭アンケートという実習で活用できそうです。
- 担当科目に組み込むイメージがまだ持てない
- 初級観光系マーケティング。データを活用した課題解決型授業。

Q9　今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）

- お忙しい中、ありがとうございました。
- ご指導ありがとうございました。
- お忙しいところありがとうございました。とても興味のある内容で自主的に取り組めました。
  時間も限られていたのですが、使い方をもっとレクチャーして使いたかったと思いました。
  また機会がありましたら、ぜひご教授お願いいたします。
- 何を調べるかによって使えるデータの検索の仕方や見方を知りたいです。
- 今後学生が気軽に活用できるようなオープンデータなどが増えていくことを願ってます。
- 特にありません。自分が学生の立場になって授業を受けさせていただくことはとても良い経験
  になりました。ありがとうございました。
- 学生たちに新しい知見習得の必要性を理解してもらうことが必要。
- そのためのガイダンスのような授業があってもいいと思うし、そこは共通の動画などで
  共通化しておけば、学校、学科全体での統一感も出ると思います。

アンケート詳細（Q4 授業利用見通しごと比較）※クロス集計

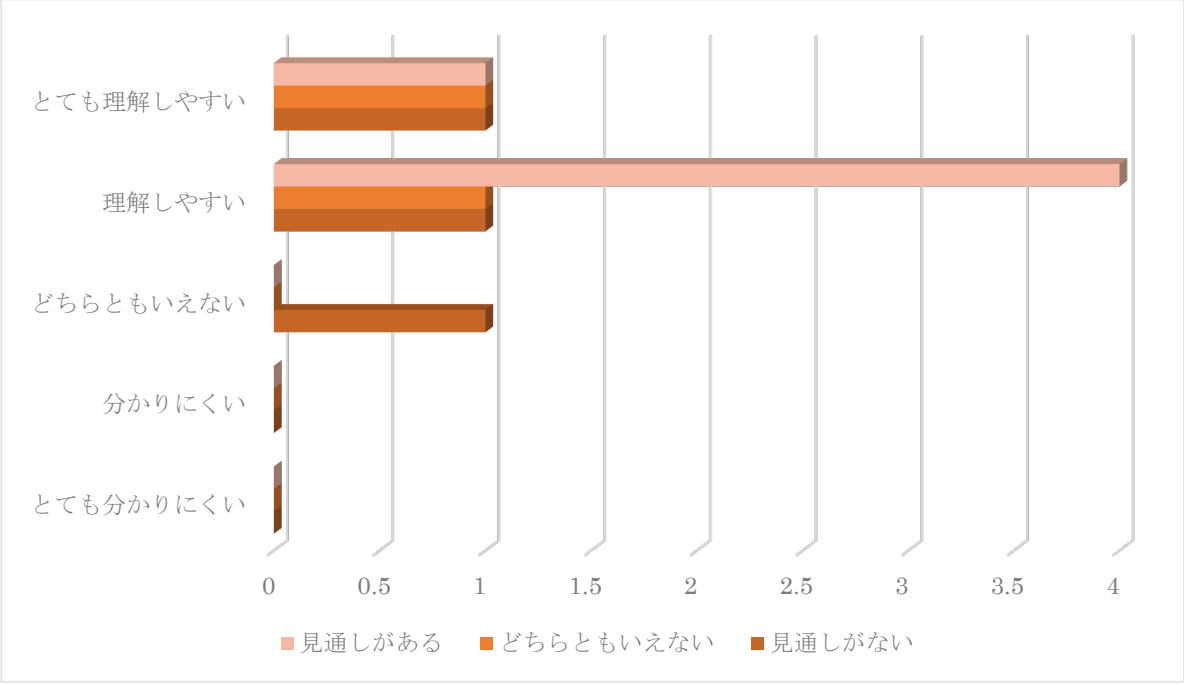
Q4　データを用いた授業を担当できる見通しについてお答えください

非常に見通しがある	0
ある程度見通しがある	5
どちらともいえない	2
あまり見通しがない	3
全く見通しがない	0
未回答	0

Q5　教材の内容や構成は理解しやすかったですか

	見通しがある	どちらともいえない	見通しがない
とても理解しやすい	1	1	1
理解しやすい	4	1	1
どちらともいえない	0	0	1
分かりにくい	0	0	0
とても分かりにくい	0	0	0

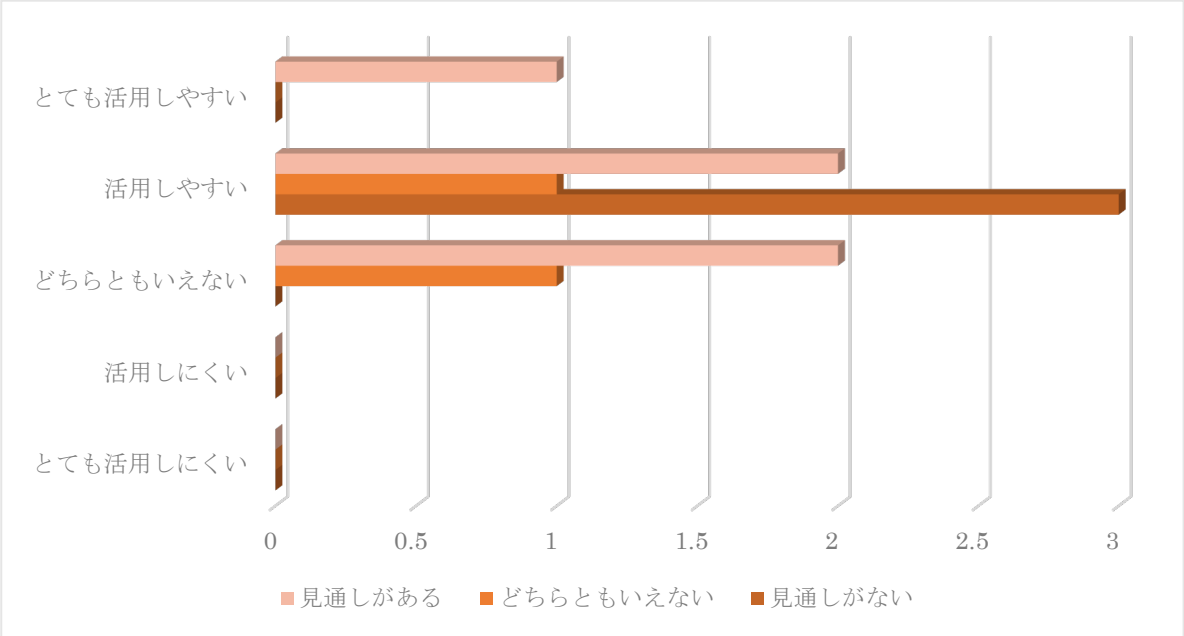
グラフ



Q6　教材は授業で活用しやすいと感じましたか

	見通しがある	どちらともいえない	見通しがない
とても活用しやすい	1	0	0
活用しやすい	2	1	3
どちらともいえない	2	1	0
活用しにくい	0	0	0
とても活用しにくい	0	0	0

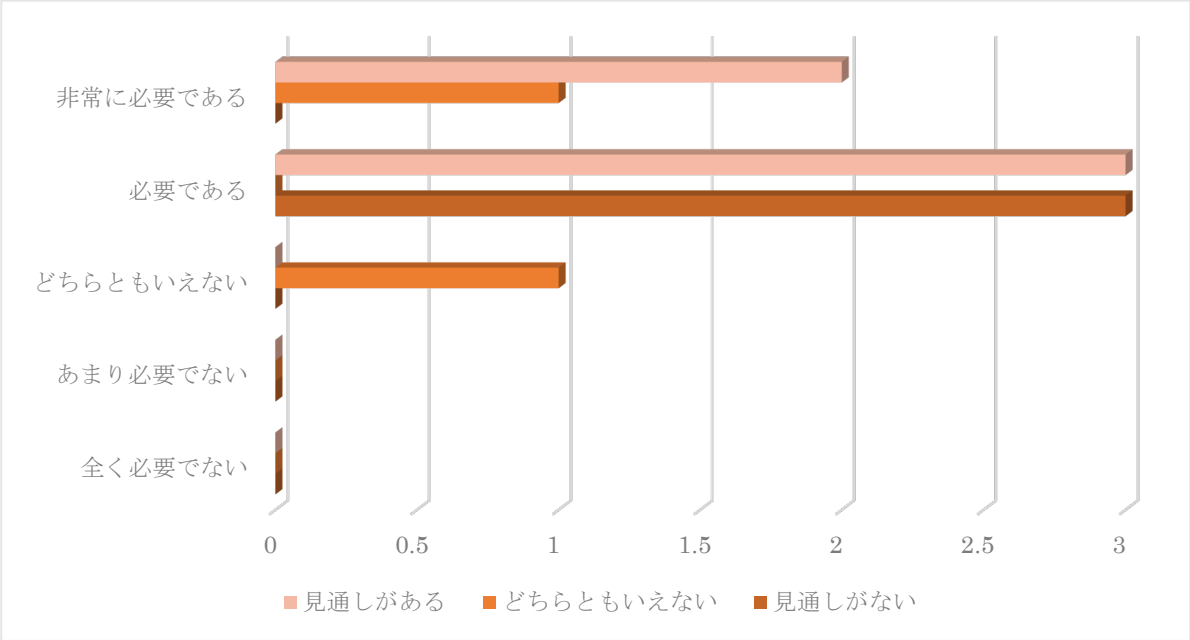
グラフ



Q7　観光系教育においてデータを用いた授業はどの程度必要だと思いますか

	見通しがある	どちらともいえない	見通しがない
非常に必要である	2	1	0
必要である	3	0	3
どちらともいえない	0	1	0
あまり必要でない	0	0	0
全く必要でない	0	0	0

グラフ



4)アンケート調査分析

高等学校生・専門学校生向けアンケート分析

沖縄県立具志川商業高等学校および学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナルリゾートカレッジで実施した、RESAS（地域経済分析システム）を活用した実証授業のアンケート結果に基づき、以下の 3 つの観点から考察する。

①観光分野に留まらない「将来のキャリア」への有用性の認識

アンケートの結果、高校生・専門学校生ともに、この授業内容が将来の仕事に役立つと強く実感していることが分かった。

＜高校生の視点＞

2 回目の授業後には、「将来の仕事に役立ちそうか。」という質問に対して約 9 割の生徒が「とてもそう思う」または「ある程度そう思う」と回答している。特筆すべきは、「どの店舗でも利用できる」、「事務系でも役立つ」、「自分の考えをまとめて説明することに役立つ」といった、観光系の職業以外でも活用できる汎用的なスキルとしての価値を見出している点である。

＜専門学校生の視点＞

専門学校生も同様に高い有用性を感じており、「データには説得力がある」、「マーケティングに生かせそう」といった具体的な活用イメージを持っていた。さらに、「根拠が必要になった時に会議でも使えそう」、「顧客のニーズを調べやすそう」といった、実務に即した期待も感じられた。

このように、RESAS を用いたデータ分析の学習は、観光業界にはもちろんの事、特定の業界に限定されない課題解決能力やプレゼンテーション能力の向上に寄与していると考えられる。

②難易度の克服と「実践・協働」を通じた理解度の向上

1 回目と 2 回目の授業を比較すると、回を追うごとに満足度と理解度が大きく向上している傾向が見て取れる。1 回目の授業直後は、高校生・専門学校生ともに「グラフの出し方が難しい」、「内容が難しい」といった、操作性や分析手法に対する難しさを訴える声が目立っていた。

しかし、2 回目の授業では「グループで協力して発表できて楽しかった」、「先生たちに手伝ってもらいながら話し合ってできた」という意見が増加している。さらに、実際に自分たちで課題を立て、データを活用してプレゼンテーション資料を作成し、発表するという実践的なアウトプットのプロセスが、理解を深める鍵となっている。専門学校生からは「短時間でまとめられたことが自信になった」という声もあり、成功体験が満足度の向上に直結していることが確認できる。

③データに基づいた思考（根拠の重要性）に対する気づき

今回の実証授業を通じて、学生たちは「勘や経験」ではなく、「データという客観的な根拠」を用いることの重要性を学習した。専門学校生の感想には、「データを使うと説得力が増し、自分自身の理解も深まった」という本質的な気づきが見られた。また、高校生からも「数値化できるところが良い」、「グラフで見ると分かりやすい」といった肯定的な意見が多く挙がっている。さらに、「沖縄に来る観光客より、宿泊する人が圧倒的に多い」といった具体的なデータの差異に驚きを示す学生もおり、RESAS を通じて地域の現状を客観的に捉え直す機会となっている。

一方で、さらなる改善点として「具体的なパワーポイントの作成例を最初に見たい」、「操作説明をより統一してほしい」といった要望も出ている。これは、学生がデータ分析をより高度に、かつスムーズに行いたいという意欲の表れであると推察される。

今回の実証授業から、観光系学科においてデータ活用教育を導入する有効性が明確となった。学生は当初、操作や分析に難しさを感じつつも、授業を重ねる中で理解度が向上し、グループでの実践を通じて達成感や自信を得ている。また、高校生、専門学校生ともに、データ分析は観光分野に限らず事務職やマーケティングなど幅広いキャリアに有用と認識しており、「説得力ある説明ができる」、「会議でも使える」といった実務的な活用イメージを持っている。さらに、データに基づく思考の重要性に気づき、地域の現状を客観的に理解する力も育まれている。これらの結果から、観光系学科にデータ活用科目を組み込み、理系的な思考と根拠に基づく課題解決力を育成することは極めて重要であると言える。

教材においては、操作説明の統一やパワーポイント作成例の提示など、学習の入り口を分かりやすくする工夫が必要である。学生からは「手順が分かりづらい」、「例があると進めやすい」といった声が挙がっており、初学者でも迷わず取り組める導入設計が課題である。また、RESAS のデータ量が多いため、観光分野で特に有効な指標を抽出し、活用場面と結び付けた教材構成とすることも重要となる。教材の体系化と段階的な難易度設定が、学習効果をさらに高めると考える。

教職員向けアンケート分析

学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナルリゾートカレッジの教職員を対象に実施した、RESAS（地域経済分析システム）を活用した実証授業のアンケート結果に基づき、以下の 3 つの観点から考察する。

①IT 科目が専門外教員による授業実施の可能性と課題

実証授業に参加した教職員の 90%が、データ活用や ICT 関連科目の指導経験が「なし」と回答しており、専門外の分野を担当する現状が浮き彫りとなっている。一方で、教材の構成については 90%が「理解しやすい」または「とても理解しやすい」と評価しており、内容把握自体は可能である。しかし、自ら授業を担当できる見通しについては「ある程度見通しがある」との回答が 5 割に留まり、残りの教職員は自身の理解度やデータ分析操作、学生への説明に不安を抱いている。円滑な実施には、教職員への事前レクチャーや操作習熟の機会提供が不可欠である。

②教材の改善点：初学者に寄り添う「具体性」と「段階的設計」

教材は概ね「活用しやすい」と評価されているが、理系転換を加速させるにはさらなる改良が必要である。具体的には、操作方法や視覚化されたデータの見方に関するより詳細な解説や、ICT に不慣れな学生に対応した「初歩的な内容からのステップアップ設計」が求められている。また、学校や学科全体での統一感を出すために、共通の動画教材の導入や、データ学習の必要性を説くガイダンスの共通化といった提案もなされている。さらに、何を調べるかによって最適なデータの検索方法や見方を提示するような、目的別の具体的ガイドの充実が望まれている。

③理系転換がもたらす教育価値とキャリアへの広がり

教職員の 90%が、観光教育におけるデータ活用授業を「必要」または「非常に必要」と回答しており、数字（エビデンス）に基づくマーケティングや課題解決能力の育成へと転換することの重要性を、現場の教職員が強く認識している。データ活用スキルは観光業に留まらず、企画やマーケティング、他職種でも通用する汎用的な情報処理スキルであると評価されており、今後は、新卒 1 年目の現場からどのように貢献できるかといった具体的な動機付けを教材に組み込むことで、学習意欲を最大化させることが重要となる

5)付録:資料

アンケート調査票

●高等学校生向けアンケート

具志川商業高等学校 観光ビジネス学科の IT 人材育成アンケート調査票

> このアンケートは、「新しい観光と IT の授業」をつくるための調査です。回答は授業評価・教材改善のために使用します。回答は学校での成績に一切影響しません。みなさんの率直なご意見をお聞かせください。(所要時間:7分程度)

<進路について>・・・2 回目アンケートのみ

進1. あなたの進路は決まっていますか →「決まっている」「ほぼ決まっている」の方は進2へ)

1. 決まっている
2. ほぼ決まっている
3. 迷っている
4. 全く決まっていない

進2. あなたの進路は次のうちどれですか

1. 観光系の進学
2. 観光系の就職
3. 観光系以外の進学
4. 観光系以外の就職

<授業について>

Q1. 授業の満足度について教えてください

1. とても満足
2. 満足
3. 普通
4. 不満
5. とても不満

※その理由

Q2. 授業の理解度について教えてください

1. とてもよく理解できた
2. 理解できた
3. 普通
4. あまり理解できなかった
5. 全く理解できなかった

※その理由

Q3. 授業で使用したオリジナル教材の使いやすさについて教えてください

1. とても使いやすい
2. 使いやすい
3. 普通
4. 不満
5. とても不満

※その理由

Q4. これまでにデータ分析（Excel グラフ、簡単な統計 等）の経験はありますか

1. ある（アルバイト等で実務経験あり）
2. 少しある（授業で触れた程度）
3. ない

Q5. 本日の授業内容は、将来の仕事に役立ちそうですか

1. とてもそう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

※その理由

Q6. 授業で一番印象に残ったことを教えてください（自由記述）・・・2 回目アンケートのみ

Q7. 今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）・・・2 回目アンケートのみ

●専門学校生向けアンケート

学校法人 KBC 学園 インターナショナルリゾートカレッジ

このアンケートは、「新しい観光と IT の授業」をつくるための調査です。回答は授業評価・教材改善のために使用します。回答は学校での成績に一切影響しません。みなさんの率直なご意見をお聞かせください。（所要時間：３分程度）

＜授業について＞

Q1. 授業の満足度について教えてください

1. とても満足
2. 満足
3. 普通
4. 不満
5. とても不満

※その理由

Q2. 授業の理解度について教えてください

1. とてもよく理解できた
2. 理解できた
3. 普通
4. あまり理解できなかった
5. 全く理解できなかった

※その理由

Q3. 授業で使用したオリジナル教材の使いやすさについて教えてください

1. とても使いやすい
2. 使いやすい
3. 普通
4. 不満
5. とても不満

※その理由

Q4. これまでにデータ分析（Excel グラフ、簡単な統計 等）の経験はありますか

1. ある（アルバイト等で実務経験あり）
2. 少しある（授業で触れた程度）
3. ない

Q5. 本日の授業内容は、将来の仕事に役立ちそうですか

1. とてもそう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. 全くそう思わない

※その理由

Q6. 授業で一番印象に残ったことを教えてください（自由記述）・・・2 回目アンケートのみ

Q7. 今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）・・・2 回目アンケートのみ

●教職員向けアンケート

学校法人 KBC 学園 インターナショナルリゾートカレッジ

このアンケートは、「新しい観光と IT の授業」をつくるための調査です。回答は教材の改良や授業運営の参考とするものであり、教員としての評価や校務には一切関係ありません。今後の教育内容をより良いものにするため、率直なご意見・ご感想をお聞かせください。（所要時間：７分程度）

Q1. 主な担当科目を教えてください

Q2. 教員経験年数を教えてください

1. 1 年未満
2. 1 年以上～3 年未満
3. 3 年以上～5 年未満
4. 5 年以上

Q3. データ活用・統計・ICT 関連科目の担当経験はありますか

1. ある（1 年以上）
2. 一部ある（1 年未満）
3. なし

Q4. データを用いた授業を担当できる見通しについてお答えください

1. 非常に見通しがある
2. ある程度見通しがある
3. どちらともいえない
4. あまり見通しがない
5. 全く見通しがない

※その理由

Q5. 教材の内容や構成は理解しやすかったですか

1. とても理解しやすい
2. 理解しやすい
3. どちらともいえない
4. 分かりにくい
5. とても分かりにくい

※その理由

Q6. 教材は授業で活用しやすいと感じましたか

1. とても活用しやすい
2. 活用しやすい
3. どちらともいえない
4. 活用しにくい
5. とても活用しにくい

※その理由

Q7. 観光系教育においてデータを用いた授業はどの程度必要だと思いますか

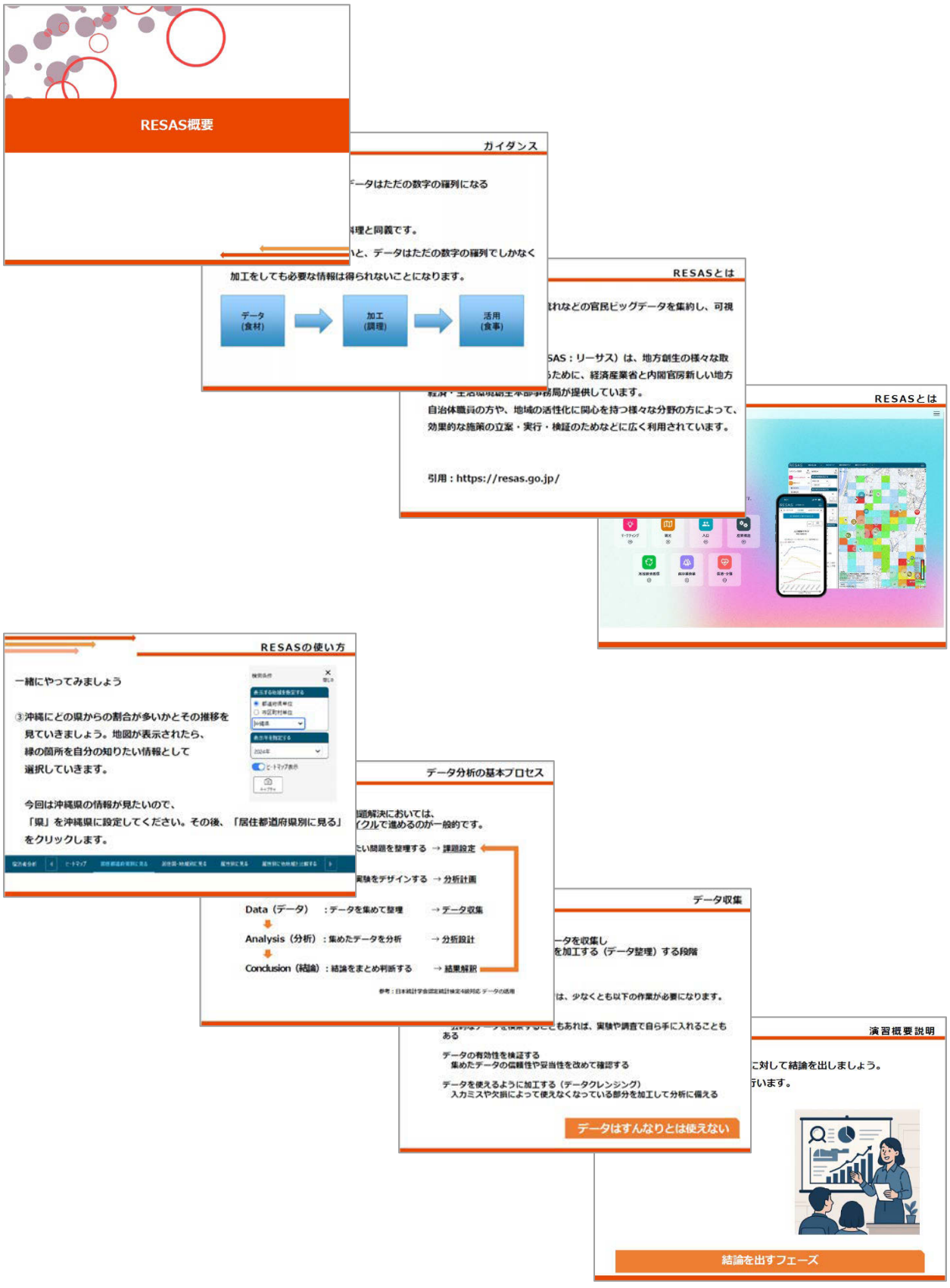
1. 非常に必要である
2. 必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

※その理由

Q8. 自分の担当科目に組み込めそうな場面があれば教えてください（自由記述）

Q9. 今後さらによくするためにご意見・ご提案があれば教えてください（自由記述）

6）RESAS 実証授業配付資料（抜粋）



3. プログラム検討委員会議事録

1)第 1 回プログラム検討委員会議事録

文部科学省事業　令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」 **第 1 回　プログラム検討委員会　議事録**	
開催日時	2025 年 7 月 18 日(金)　15:00～17:00
会場並びに開催方法	インターナショナルリゾートカレッジ　701 教室（一部、ZOOM 利用によるリモート方式）
出 席 者	（プログラム検討委員） ・沖縄県立中部商業高校　儀間　朝浩 ・学校法人YIC学院　理事　岡村　慎一 ・学校法人KBC学園　国際電子ビジネス専門学校 知花　匡哉 前津　盛明 ・タピック沖縄株式会社　ユインチホテル南城　人財開発課　次長　高橋　俊博 ・株式会社国際旅行社　取締役総務部長　山城　秀康 ・沖縄県商工労働部　IT イノベーション推進課　リゾテック推進班　班長　渡久地　美亜希 ・一般社団法人　ノーコード推進協会　代表理事　中山　五輪男 ・一般社団法人　リテールAI研究会　テクニカルアドバイザー　今村　修一郎 ・一般社団法人　ビッグデータマーケティング教育推進協会　事務局　吉田　典子 ・一般社団法人　沖縄県ホテル協会　事務局長　川端　昇 ・学校法人KBC学園　インターナショナルリゾートカレッジ 部長　永村　勇樹 教務課長　新里　玲子 大冝見 汐織 川添　樹子 就職担当　伊佐　尚子 ・学校法人KBC学園　地域創生室　支援部 室長　國仲　陵太郎 仲宗根　真 東　知範 （教材開発） ・株式会社　穴吹カレッジサービス　森内　周公 （議事録作成） ・学校法人KBC学園　地域創生室　仲宗根　真
議　　題	議　事 議題1　令和 7 年度事業計画について 議題2　観光IT系カリキュラム案について
配布資料	配布資料 資料①　令和 7 年度事業計画書_理系転換 資料②　250718_理系転換。観光　IT科目名_カリキュラムマップ案

会議概要	永村の挨拶後、仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認をし、伊佐を紹介した。議題 1 にて仲宗根より資料①を使い、令和 7 年度事業計画について説明。議題2では森内氏、仲宗根より資料②とPPを使い、観光IT系カリキュラム案について説明を行った。委員より質疑応答を行った後、仲宗根より今後の予定を確認。永村よりお礼を述べて終了。
目　　次	**議題1：令和 7 年度事業計画について** ・仲宗根より資料①を使い説明 質疑・応答等 （仲宗根） ・具志川商業高校でリーサスを使用した実証授業を行ったが、他の商業高校でもあるのか？ （儀間委員） ・昨年から使用している「観光ビジネス」の教科書にリーサスがでてくる。昨年、教育センターでリーサスを使った授業を実施してもらった。商業高校では根拠となるデータを集める授業を実施するために動いている。自身の生徒たちにも受講させたい。良い取り組みだと思う。 **議題2：観光IT系カリキュラム案について** ・森内氏、仲宗根より資料②、PPを使い説明 質疑・応答等 （川端委員） ・ITリテラシーに関する授業もあるのか？ （森内氏） ・AIの分野も含めてITリテラシーに取り組んでいく予定。 （仲宗根） ・企業へ行ったアンケートからSNSによる情報発信がIT活用として多かった。これらに関するリテラシーや必要であれば、著作権に関する問題についてもプログラムに含めるよう検討したい。 （今村委員） ・我々の業界にある「ガバナンス」に関して入れてもらいたい。AIは便利であるが、人を傷つけることもある。守るべき最低限のラインがある。企業もリスクがあることを想定しているので、カリキュラムで押さえておくと良い。 ・情報漏洩など事故原因のほとんどが「設定ミス」である。基礎知識があれば、ほぼミスを防ぐことが出来る。 ・学生によって興味を持ちにくい子もいると思う。TikTok やインスタといった SNS 系の内容をうまく入れることが出来れば良いと思う。旅行などで現地の情報はデジタルを使って検索することが多いので、発信されていないと知ってもらえない。TikTok やインスタは検索されたデータが蓄積されていく。どのような人が来て、何をしたかを調べることが出来る。消費の傾向なども知ることができるので若い人にとっても興味を持てやすいと思う。 ・コンテンツ内容やターゲットなど企画の段階でリーサスのデータが活きると思う。設計の時点でリーサスのデータを使えるようになると一気に興味も湧いてくると思う。 ・中高生を対象としたコンテストなどを企画しても面白そうである。我々にとっても良いアイディアが出るきっかけになるし、スポンサーとなる企業も集まると思う。学生にとってもメリットになる。 ・データに関するガバナンスを学んだという証明は難しい。観光デジタルに関する「資格」を考えても良いかと思う。プログラムを通じて得られる知識の証明にもなり、取得人数はKPIにも反映できそうである。 （仲宗根） ・AIの進展に法整備が追い付いていない点に対して、業界の対応を教えてほしい。

	（今村委員） ・欧米での生成AI使用率は約8割。日本では2～3割にとどまる。欧米では厳密な解釈ではアウトであっても運用上では認められるラインが整っており、全員が意識している。法整備を進めなくても成立している環境がある。日本は活用の事例が低いためその部分が難しい。 ・AIなどデータの処理方法は大きく変化しているが、元となるデータの部分は変わっていない。個人情報やデータの権利といった基本を押さえておけばトラブルは発生しない。観光業界で考えると、お客さんの宿泊データやSNSで発進したデータ、個人情報などが該当すると思う。 （岡村委員） ・毎年カリキュラムを受講して輩出される 40 名の定員が観光業界で吸収できるか。その後のバックアップが考えられているかが気になった。 ・統計学など数字にアレルギー反応が高い方が多い状況で、指導する側がどのように考え方を変えないといけないか。新しくAIのコースを考えている自身にとって課題と感じている。 （仲宗根） ・観光系を学ぶ高校生に関しては興味もあると思うのでアプローチができると考えている。またITに興味を持っている情報系を学ぶ高校生に対しても観光をベースにマーケティングを学習しておけば、分野が変わっても活かすことができることを伝えたい。 ・さらに小中生に対してはキッザニアのような職業体験で観光業の体験を通じて、業界を知ってもらうことも大切だと思う。 （仲宗根） ・学生への動機づけや指導の手法について教えてほしい （知花） ・企業の意見を踏まえて授業に導入していることを学生に伝えている。卒業生の実体験や企業現場からの声が一番大きい。多くの学生は納得してくれる。また企業から頼られることが自身にとってメリットになることを話している。 （中山委員） ・コマ数と時間数について教えてほしい。 ・ノーコードツールについて教えてほしい。 （仲宗根） ・1 年次は観光系の授業がメインとなり、IT系が少なくなっている。1 コマが 1 時間ということではなく、学ぶ内容によって授業の時間が何コマ必要かという考え。一度カリキュラムとして作成するが、状況に応じて多少の増減があると思う。 ・専門学校の場合、基本的に半年で 25～30 コマの授業を行う。例えば半年間にノーコードやローコードについて学ぶという形で考えると、2年次の課題解決の実践が 50 コマとなる。 （知花） ・当校で行うノーコードツールの授業も半年で 20～30 コマのイメージで実施している。ツールに関しては 1 つのサービスに絞っている。 （中山委員） ・今村委員からあったように、学生たちに対してアプリ作成などコンテストを行っても良いと思う。ノーコード推進協会として賞金など協力も考える。学生向けにソフトバンクが主催するAIコンテストは賞金が 1,000 万円であった。 （今村委員） ・企業側からもフリーでライセンスの使用を協賛などあると思う。学生に使用してもらえることは企業にとってもメリット。 （渡久地委員） ・沖縄県では県内企業にDX化を進め、生産性の向上を支援している。例えば、あるホテルには自社データとオープンデータの分析方法について支援事業を行った。

	・カリキュラムにオーバーツーリズムなど課題解決の内容があった。このような事例にプラスさせて、データを使用して企業の収益につなげるにはどうするか。企業に稼ぐ力をつけさせるため、強みとデータをどのように活かすか。などを考えさせても面白そうである。 （仲宗根） ・ホテルに行った支援事業だが、データ関連の専門人材に行ったのか？ （渡久地委員） ・県内のホテル事業社で専門の人材は少ないと思う。沖縄ITイノベーション戦略センターから専門家を派遣してもらい、伴走支援を行った。 ・企業に専門人材が必ずいるとは限らない。企業の方と学生に教えることはあまり変わらないと思った。沖縄ITイノベーション戦略センターとの情報共有は良いと思う （仲宗根） ・学生の成果物を企業に採用してもらうことは可能か？ （高橋委員） ・稼働状況に応じた宿泊価格決定などでAIを導入する点が追いついていない。他社の価格を参考にしながら決めているのが現状。若い感性やアイディアがもらえることはとても大切であるが、このような人材を受け入れる環境が多くの企業で整っていないのが現状。プログラム開発の五年後あたりになるとこれらの点も進んでいると思う。 ・若いスタッフに TikTok や LINE など SNS の情報発信をさせた際にターゲット分析や IT 活用などマーケティング知識が不足していると感じた。マーケティングの学びをカリキュラムに入れてほしい。 （山城委員） ・旅行業界全体を考えても、このような人材はゼロに近いと思う。学生たちが新たな知見で切り開いていく内容にワクワクしている。観光業に興味を持って学んだ学生たちを受け入れる企業としてどういった場面や職種に繋げることが出来るかイメージして話を聞いていた。ツアープランナーやコーディネーターなど今ある業種をより良くする。また新たな職種を生み出す期待感がある。 ・カリキュラムを学んだ学生たちがどのくらい旅行業を希望して就職活動をしてくれるかと思った。 （高橋委員） ・中学生を対象にpblをおこなっている。ITの利用は上手いが、毎回フィールドワークが不足している。実践が無いとプランとして成立しない。カリキュラムにはフィールド関連の時間を増やしてほしい。机上の空論になってしまう。 ・学生の商品制作は企業側からも歓迎。オープンに協力すると思うので実施してほしい。 （中山委員） ・簡単な業務アプリが作れるノーコードツールを提供する企業として、学生が開発したアプリをテンプレートとして採用することは可能である。当社にも 100 種類以上のテンプレートがあるが、観光関連が不足している。学生にとっても採用されると嬉しいと思う。協力は可能である。 （吉田委員） ・自身の団体でデータマーケティングの発表会を実施しており、今村委員にも審査員として参加してもらっている。このカリキュラムを受けた学生たちにもできると思う。ぜひやってほしいと感じる。 ・カリキュラム内容をうまく構成すれば学生たちは興味を持って育ってくれると思う。指導する先生たちは大丈夫かと心配する方もいると思う。指導者へ抵抗のない内容であることを体験してもらう場も必要。 ・IT人材の育成というと難しく感じる。ITやデータを活用できる人材の育成という方向から、観光業の方々にも体験してもらえる機会を設けられると良い。本来の専門学校は企業が求める人材を育成している。このプログラムは業界が実施しないといけない

	と感じているが手を付けられていない内容であり、先行していると思う。すでに対策している企業もあるので、一緒に何か企画できると良いと思う。 （中山委員） ・機械同士を繋ぐものがITで、DXはデジタル技術で人間の経験を繋げるもの。最新のAIを使い新しい経験を生み出し、その経験同士を繋げる。こういった新しい感覚の世界観を作ることが出来る観光DXを目指してほしい。 （岡村委員） ・中山委員の考えに同感である。委員会での意見や現状を踏まえると、ITの枠を超えたDXの内容となっている。 ・本校でも理系転換の事業を受託しているが、制約が受託後から出てきたので学科ではなくコースの新設に変更した。正しい意見の主張は間違いでないと思う。 ・KBC学園では社会人対象の講座も実施しており、文科省も単位制の導入を考えている。授業の科目をパッケージ化して販売する手法もある。私も自校での実施を促している。 （今村委員） ・ITや理系自体に価値はない。現場やビジネスなどに組み込まれることによって意味が生まれる。例えば需要予測のモデル自体に価値はないが、受発注に結びつくことで価値が出てくる。外側の部分を知らないと失敗する。統計学などの数字も基礎的な知識は必要であるが、専門的な範囲はチャットGPTやAIを活用できる時代が来ている。自身の会社でも税務や法務の部分で使用している。誰でも専門家が扱える状況になった時、この人たちに何を頼むかが大事。学校ではその部分を教育してほしい。 （川端委員） ・ホテル業界でもやっと IT ツールの導入が始まったと実感している。IT 人材が業界で馴染むか疑問を持つ人も多かったが、少しずつ必要性があると変わっていった。このような人材が必要で歓迎されると思う。1人の専門家ではなく、全員がツールを使えることが良い環境だと思う。 ・マーケティングや営業以外でもフロントでのお客様対応、レストランスタッフと調理部門のやり取りなどホテル業でも多くの部署で IT の人材は必要。カリキュラムを学んだ方々が現場で提案してくれ、全体のボトムアップに繋がることに期待している。 ・ツールの活用で空いた時間をお客様の満足度アップに繋げることが最終の目標。ホテルの価値、ブランドを上げるためにツールを使っていくことを考えていかないといけないと思う。 ・1 つのツールを導入することで 2 つの課題が解決することが理想。発想の転換や想像力、着眼点を持つといったプログラムがあっても良いと感じた。 （仲宗根） ・観光や商業系で今後、高校現場の動きについて教えてほしい。 （儀間委員） ・地域課題の解決をどのように授業に入れていくか苦労している。企業が子どもたちに求めている能力を我々は周知しきれていない。マーケティング、観光ビジネス、情報など全ての業種で働けるよう科目設定をしている。さらに専門学校で深く学び、企業に求められる即戦力を持った生徒に育ってほしい。このような委員会を通じて、授業に組み込みたいと思った。 （仲宗根） ・高校で活用してもらえる部分があれば積極的に情報を開示していきたい。 ・今後の予定について（仲宗根） 令和 7 年度　委員会開催予定 第 2 回委員会　2025 年 10 月 24 日(金)15:00～17:00 第 3 回委員会　2026 年　1 月 23 日(金)15:00～17:00 会場:インターナショナルリゾートカレッジ

	その他:本日の参加お礼(永村) 以上　委員会を終了する。

Zoom にて参加した委員と、会場の様子





2)第 2 回プログラム検討委員会議事録

文部科学省事業　令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」 **第 2 回　プログラム検討委員会　議事録**	
開催日時	2025 年 10 月 24 日(金)　15:00～17:00
会場並びに開催方法	インターナショナルリゾートカレッジ　701 教室（一部、ZOOM 利用によるリモート方式）
出 席 者	（プログラム検討委員） ・学校法人YIC学院　理事　　岡村　慎一 ・学校法人KBC学園　国際電子ビジネス専門学校 　教務部　主任　知花　匡哉 　教務部　前津　盛明 ・タピック沖縄株式会社　ユインチホテル南城　人財開発課　次長　　高橋　俊博 ・株式会社国際旅行社　取締役総務部長　　山城　秀康 ・沖縄県商工労働部　IT イノベーション推進課　リゾテック推進班　班長　　渡久地　美亜希 ・一般社団法人　ノーコード推進協会　　代表理事　　中山　五輪男 ・一般社団法人　リテールAI研究会　テクニカルアドバイザー　　今村　修一郎 ・一般社団法人　ビッグデータマーケティング教育推進協会　事務局　　吉田　典子 ・一般社団法人　沖縄県ホテル協会　事務局長　　川端　昇 ・学校法人KBC学園　インターナショナルリゾートカレッジ 　部長　永村　勇樹 　副校長　田村　明子 　教務部　課長　新里　玲子 　教務部　主任　大宜見 汐織 　教務部　就職担当　伊佐　尚子 ・学校法人KBC学園　地域創生室 　室長　國仲　陵太郎 　　仲宗根　真 　　東　知範 （教材開発） ・株式会社　穴吹カレッジサービス　　森内　周公 （議事録作成） ・学校法人KBC学園　地域創生室　　仲宗根　真
議　　題	議　事 議題1　観光IT系開発教材について 議題2　理系転換手順書並びに実証授業について 議題3　意見交換
配布資料	配布資料 資料①　理系転換講義系教材 資料②　理系転換実習系教材 資料③　コマシラバス案 資料④　理系転換手順書案 資料⑤　実証授業アンケート設計のポイント

会議概要	永村の挨拶後、仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認。議題１にて森内氏より資料①～③を使い、観光IT系開発教材について説明。議題2では森内氏、仲宗根より資料④～⑤とPPを使い、理系転換手順書並びに実証授業について説明を行った。議題3で委員より質疑、感想を承った後、仲宗根より今後の予定を確認。永村よりお礼を述べて終了。
目　　次	**議題1：観光IT系開発教材について** ・森内氏より資料①～③を使い説明 質疑・応答等 （岡村委員） ・コマシラバスに記載されているものは科目目標でないのでは？　何をするか、行動することでどのような結果が出せるかが1つの目標になる。記載を修正したほうがよい。教材を制作するのであれば、何ができるようになるか、どのような知識を得ることができるかを明確にした方がよい。 ・抽象化、具体化、課題と問題の違いといった用語のチップスがあるとよい。今まで違う分野を学んでいた学生が戸惑ってしまわないようにする必要がある。 （仲宗根） ・学園内に担当部署があるので再度確認しながらシラバス作成に取り組む。 ・今後、教材を使用して高校と専門学校で実証授業をする予定。IT 系でない生徒たちが事例や作業によってどこまでイメージして理解できるか確認したい。興味を持って分かりやすい授業ができる教材開発をしたい。 （中山委員） ・体験することが目標ではない。体験を通じてなってほしい人材像を目標にするとよいのでは。 （川端委員） ・専門的過ぎて、欲しい情報を探すことが難しいと感じた。指導する教員も大変だと思う。欲しい情報の探し方、どこにあるのかなどコツや見る方法があるとよいのでは。 ・学生に課題点を問いても恐らく出てこないのでは。何が問題なのかが分からないこともある。自身の生活で、など具体的にした方がよいと思う。 （吉田委員） ・ビックデータに関連した授業を行っているが、多くの受講生がビックデータやデータ分析については分からないビジネス系の学生。教材開発では、初めに興味を持たせることを意識した。そこができれば後半は多少難しくても自分たちで考え進めていく。入口で「面白いかも」と思わせる工夫をしている。テキストに盛り込むのか、それとも教員が示すのかを教材開発者と連携して進めていくとよいと思う。 （中山委員） ・近年、データ分析は生成AIを活用する。学生たちにも使用させるのか？ （仲宗根） ・積極的に使用したいと考えている。 （中山委員） ・多くの生成AIを活用して、いろいろな分析をさせるとよいと思う。 （知花委員） ・提供して頂いたデータを使用してビックデータの授業を行っている。ただデータを見せるだけでは理解できない。例えば身近なカップ麺の地域別販売ランキングや開発に関する情報、ニュースなどと紐づけて興味を持たせる。そうすると自分で調べる気持ちが出る。学生には日頃から観光に関する話題や学んでいる科目とビックデータを紐づけると身近に感じると思う。 （岡村委員） ・中山委員からもあった育成する人材像だが、今までとの違い、さらにできるようになる点をセグメントとして文章化するとよい。専門学校や大学でいうディプロマ・ポリシーになると思う。明確にしておかないとブレてしまう。使える、できる、という職業教

	育だけではいけない。企業や社会にどれだけ貢献できる人材として評価できるかが今の教育分野には求められる。 ・専門学校も大学と同じく、どこまでディプロマ・ポリシーに基づいたコンピテンシーレベルでの評価が証明できるかが求められるようになる。学期や学年といった期間で段階的に学んでいったことを統合することで卒業時になれる人材像がディプロマ・ポリシーにつながる。我々の大学では1つずつの科目評価ではなく、集約した科目を作り評価できる方法、課題解決型の科目を盛り込み、企業にも評価してもらうプログラムを導入したいと考えている。 ・各学年修了時点での育成された人材像について議論したほうがよい。 **議題2：理系転換手順書並びに実証授業について** ・森内氏、仲宗根より資料④～⑤を使い説明 質疑・応答等 （前津委員） ・手順書の作成は文科省から求められているのか？ （仲宗根） ・最終的に全国で使用してもらうことを考慮して企画提案をした。その点を含めて採択されたと考えている。カリキュラムを作成することがメインであるが、新設に関する法律や提出する書類なども把握する必要がある。実際転換に必要な事務手続きなどにも配慮し、手順書も作成した。 （岡村委員） ・新しいプログラムを作成する際は、企業との連携を入れるよう強く求めている。実際に作成した際に苦労した点やポイントを組み込まないとKBC学園が作成した手順書にはならない。模範的な総論では意味がない。他の方が参考にできる内容にして文科省に納品できるとよい。 ・留学生に対しては教員も不安が多いと思う。留意事項が必要。また留学生対象のキャリア形成プログラムは学科の認定を文科省に出す。外部評価が義務となるのでフレームも考えないといけないが、その部分が不足している。現状ではなく、今から考えていく必要がある部分も盛り込んだ方がよい。 （今村委員） ・失敗した事例も入れたほうが良い。初心者の間違いは8～9割が同じ。先行事例としての価値も高まる。文科省の事業として行う意味もある。 ・データをどのように確保するのか。実際に進める際に苦労すると思う。原材料がないと何もできないので、確保先を入れておいた方がよい。 ・データがあるから分析するという手順はほぼ失敗する。解決したい課題があり、どのようなデータが必要か、という流れでないとかみ合わずに逸れてしまう。 ・今行っていることにデータの要素を入れる「レトロフィット」という方法もよいと思う。いきなり新しい導入をすると気持ち的に沈んでしまい、結果につながりにくい。 ・企業、行政などからデータを提供してもらう方法や事例も手順書に掲載しておくと進めやすいと思う。 （仲宗根） ・受講生に興味を持たせる方法を教えてほしい （今村委員） ・業界で長年働く方が気づくことがデータ分析で知れることが面白い。データ分析に基づく行動で反応が得られる結果が嬉しかった。周りが考えている点との違いを感じ、その理由をデータで分析して課題か解決した喜びのストーリーを話した。受講生から質問ややってみたいという声がでるようになった。特に若い人は自身で問題が発見できると、自分で解決したいというモチベーションがすごく上がる。 ・複数の答えがあるデータ分析は、何が正解なのかが教える側もわからないので評価

	が難しい。また 100%の答えではないので、踏み切るポイント、判断も難しい。まずは5割程度でやってみて、そして修正してまた試すというスタイルでやっている。 （仲宗根） ・企業内のデータを学校に提供して、一緒に課題を取り組むことは企業として可能か？ （高橋委員） ・学生たちが学ぶ前に我々企業が理系転換について学ぶ必要があると思った。スタッフに受講させたい。宿泊価格やマーケティングなど 20 年以上働く人の勘で成り立っている。データ分析が重要であるが、我々が不足している。学生たちに課題を与えて一緒にできるかは不安。 ・データの開示を行い、一緒に取り組むことは我々にとっても学びとなるのでやるべきだと思う。しかしノウハウがなく、データとの裏付けもあるようでない状況。 （山城委員） ・高橋委員と同じ意見。受け入れる企業側に学ぶ機会をつくり、意識を変えないといけない。社員にもこのようなプログラムや学科を卒業した学生たちが入社してくることに対して、どうすべきかを投げかけている。危機感を持っている社員もいるが、ほとんどがピンときていない感覚。一緒に学びたい。 （岡村委員） ・本校では起業家同友会と連携して企業の課題に対し、学生が解決に向けた提案を行っている。後期から入門編のアントレナプレ教育として、希望する全学科の学生にスタートアップを経験した企業の方から自社の課題解決方法について話をしてもらっている。 ・これからの人材育成は正解のない問いを自分で立て、実際の問題にアプローチしていく力を身につけないといけない。 ・答えのない取り組みをファシリテートする教員は大変であるが、企業からも喜ばれ、学生たちも生き生きと取り組んでいる。 （仲宗根） ・教員のファシリテート力をあげる取り組みがあれば教えてほしい （岡村委員） ・複数人で、大学の教員や共同生活で共に学ぶアカデミーハウス運営のノウハウなども取り入れながら行っている。 （川端委員） ・企業連携が実体験できるチャンスと考えている。ホテル業界はDX化が進んでいないと実感している。まさに転換期だと思う。まずは1つやってみることが大事。学生たちと課題解決に取り組んでいくことはありだと思う。 ・学生たちの良いアイディアを企業がどこまで商品化してよいのか。線を引いて明確にしておいた方がよい。 （渡久地委員） ・沖縄県ではデータを活用した経営分析など企業のDX化支援の取り組みをしているところ。ホテル、土産品店、観光施設など、オープンデータと自社データを掛け合わせてできることは何かを考えてもらった。ぜひ事業を活用してほしい。 ・今年度は経営者がデータトリブン経営を推進する会議を設けている。どうやれば必要性を感じてもらえるかなどプログラムの親和性があると感じた。連携して意見交換したい。 （仲宗根） ・県の事業は企業が対象であると思うが、学生が関わることは可能か？ （渡久地委員） ・リゾテックエキスポでは学生向けのイベントを行う予定。企業と学生とのマッチング、学生の発表、企業ワークショップといった内容。観光系で理系転換カリキュラムを受けた学生が発表する場など十分に活用してもらえると思う。 （今村委員） ・実証授業を受けて興味がどのくらい増したか、ビフォーアフターを見てみたい。見つけ

	た課題や発見などを自由記述で聞いてもよいと思う。学生の視点で見た課題をどのようにデータを活用することで解決できるかが分かるコンテンツだと教材もよくなると思う。 ・アンケートはネガティブな聞き方だと書きづらい。やってみたかったこと。今後やりたいこと、など前向きにするとよいと思う。チャットGPTを使えば、自由記述の内容から要点をまとめてくれる。4点・5点といった選択式だと、なぜそう思ったのかがわからない。自由記述であればその部分も知ることができる。 （中山委員） ・5 段階で記入するアンケートにも自由記述の欄を入れてはどうか。なぜその回答にしたのかコメントがもらえるとよい。 **議題 3：意見交換** 質疑・感想等 （今村委員） ・いろいろな業界の方とポジティブな意見交換できる機会は少ない。前例がなく、難しいことを実現しようとしている。正解がないところを目指すことに不安も大きいと思う。少しでもお役に立ちたい。 ・観光業界のデータ分析は経験がないので、自分自身でもやってみたい。そのような貢献方法もあるのではと思った。 （吉田委員） ・データ分析に抵抗感が強いなかでのプログラム開発だが、今後はこの教材で学んだ学生が社会に出てくる。一緒に学び業界を変えていくきっかけになれば、すごく意味があるし、必要である。 ・学生や教員たちだけが一生懸命になるのではなく、沖縄の観光業界も一緒になって変えていこうとなれば教材が有効に活かされ、意味のある事業になると思う。「このプログラムを学ぶために学校へ行く」が実現できればよいと思う。 （中山委員） ・企業からデータを提供してもらうことはとても大変だと思う。しかし、ホテルや観光施設、タクシー会社などあらゆる企業から提供してもらったデータが分析できることは貴重な機会。なかなかできることではない。今後に活かせる事例になることを期待している。 （岡村委員） ・吉田委員からもあったように、プログラムを学んで社会に出る学生たちの3年後はどのような時代になっているかわからない。しかし必要なことを知り、自分たちが変えていける力を身につけることができれば、本人、企業共にハッピーだと思う。テクニカルな方法を学ぶだけの時代ではないことを専門学校は考えていかないといけない。 （川端委員） ・新聞を活用して課題を見つけるプログラムを新聞社が提供している。外部の力を借りることもよいと思う。また他県の先行している学校との交流も違う事例を学べると思う。そういった機会を通じて、内容もさらによくなると思った。 （高橋委員） ・近年、pbl型の企業と連携した授業の依頼が多い。しかし「レブパーを最大化して」と言って も難しい。「稼働率を上げる」「客単価を上げる」など具体的に伝えることで少しずつ進む。企業として人材をしっかり育てていきたいと思う。 ・先日、中学校で行ったワークでは 3 か月かけて導く答えをチャットGPTであっという間に出してしまった。今までの方法は通用しないと感じた。若者の方が柔軟に取り入れる。理系転換という言葉は難しいが、数字を活かした経営手法が重要であることを伝え、我々も一緒に学んでいかないといけない。

	（山城委員） ・業界として企業連携は重要だと感じる。受け入れ企業としてどのように見出し、活躍できるか。高校生にどのようにPRし伝えていくかは一貫してつながっている。今後も企業の観点から協力していきたい。 （渡久地委員） ・沖縄オープンデータプラットフォームというサイトに官民のオープンデータを掲載している。例えば、自動車事故の発生状況をまとめたデータはオーバーツーリズムの課題解決と掛け合わせることができるのではと感じた。また公共交通関連のオープンデータを集約した OTTOP というサイトもある。これもお役に立てると思う。 （前津委員） ・今までとは違う分野を学生に教えている。自分が楽しめれば、学生にもそれが伝わる。自身が経験してきた業界のデータが、当時の疑問や葛藤などの経験を通じて、活きたデータとして学生に提供できると思う。 ・まったくプログラムを知らない観光系の学校から異動した自分に何ができるか疑問であった。しかし幼い頃からゲームが好きだった経験が意外と活きている。ゲームを制作する側の学生たちには「買いたいと思わせる作り」でないと売れないことを伝えている。理系転換のプログラムを学んだ学生でも IT を全く使わない観光系の部署に就職することもあると思う。しかし、ふとしたきっかけで自身が学んだことを業務に活かせる可能性もある。また、活かせていることをもっと伸ばしたいと行動に移す沖縄の観光人材を育成していくプログラムに携われることが嬉しい。 （仲宗根） ・前津委員のような存在は、これから学生を教える教員にとって安心材料になると思う。このような経験もプログラムに入れていきたい。 ・今後の予定について（仲宗根） 第 3 回委員会　2026 年　1 月 23 日(金)15:00～17:00 会場:インターナショナルリゾートカレッジ その他:本日の参加お礼（永村） 以上　委員会を終了する。

3)第 3 回プログラム検討委員会議事録

文部科学省事業　令和 7 年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」 **第 3 回　プログラム検討委員会　議事録**	
開催日時	2026 年 1 月 23 日(金)　15:00～17:00
会場並びに開催方法	インターナショナルリゾートカレッジ　701 教室（一部、ZOOM 利用によるリモート方式）
出 席 者	（プログラム検討委員） ・沖縄県立中部商業高校　儀間　朝浩 ・学校法人YIC学院　理事　岡村　慎一 ・学校法人KBC学園　国際電子ビジネス専門学校 主任　知花　匡哉 前津　盛明 ・ユインチホテル株式会社　ユインチホテル南城　人財開発課　次長　高橋　俊博 ・株式会社国際旅行社　取締役総務部長　山城　秀康 ・一般社団法人　ノーコード推進協会　代表理事　中山　五輪男 ・一般社団法人　リテールAI研究会　テクニカルアドバイザー　今村　修一郎 ・一般社団法人　ビッグデータマーケティング教育推進協会　事務局　吉田　典子 ・一般社団法人　沖縄県ホテル協会　事務局長　川端　昇 ・学校法人KBC学園　インターナショナルリゾートカレッジ 部長　永村　勇樹 副校長　田村　明子 課長　新里　玲子 主任　大宜見 汐織 與那城 幸美 就職担当　伊佐　尚子 ・学校法人KBC学園　地域創生室 室長　國仲　陵太郎 仲宗根　真 鈴木　幹直 東　知範 （教材開発） ・株式会社　穴吹カレッジサービス　森内　周公 （議事録作成） ・学校法人KBC学園　地域創生室　仲宗根　真
議　　題	議　事 議題1　令和7年度事業報告 ・開発教材について ・実証授業について 議題2　令和8年度事業の方向性について 議題3　意見交換
配布資料	配布資料 資料①　R7【理系転換】実証授業評価分析報告書 その他　理系転換　観光IT科目　詳細

会議概要	永村の挨拶後、仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認。議題１にて森内氏より資料①を使い、令和7年度 開発教材、実証授業について報告。議題2で仲宗根よりPPを使い、令和8年度事業の方向性について説明を行った。議題3で委員より質疑、感想を承った後、仲宗根より今後の予定を確認。永村よりお礼を述べて終了。
目　　次	**議題1：令和7年度事業報告** **・開発教材について** **・実証授業について** ・森内氏より資料①を使い説明 ・仲宗根よりPPを使い、令和7年度 実証授業の報告 ・吉田委員より教材制作時におけるアドバイス ・鈴木よりコマシラバス制作時におけるアドバイス 質疑・応答等 （岡村委員） ・授業には目標があり、学生が理解して次に繋がることが大事。理解できたことで自身の学んだことが活きると思う。先生が教える点と学生の理解度が分かる点を目標にして「まとめ」にするシラバスの作り方がよい。 （知花） ・実証授業は今回だけなのか。 （仲宗根） ・次年度以降も実施してブラッシュアップさせていく予定。高校生だけではなく、卒業生など社会人にも実施したいと考えている。 （知花） ・企業向けに実証授業の見学会などを実施すると、希望する方も増えると思う。また企業の方に見学してもらえると学生にとっても良い刺激になる。 （中山委員） ・資① P51 にあるQ4の結果が気になる。現場の先生からは「余裕がない」という声が多い。疲労困憊している方が多いなか、新しいスタイルの授業を任される先生は大丈夫だろうか。 ・完成したプログラムを浸透させるプランはあるのか。 （仲宗根） ・この点は事業の肝となる点だと考えている。文科省からもプログラムを全国へ浸透させる点も考慮することを言われている。事業が終了した令和9年度以降、本学園でこのプログラムを実際に運用することを念頭に置いている。先生方の視点を入れながら開発を進めている。 ・実証授業の結果から想定していた以上の負担がある場合、外部講師やカリキュラムの時間調整なども考えている。 （中山委員） ・生成AIの導入で企業では「仕事のやり方」が「仕事のあり方」に変わろうとしている。世の中も検索による時代から質問の時代へと言われている。教える先生よりも学生たちの方が詳しくなっているかもしれない。外部の方や企業の協力を得ながら現場の不安を払拭させてもよいと思う。 （仲宗根） ・先生方の業務を管理する立場としてはどうか。 （田村） ・毎年 10 月頃からカリキュラムの作成に入る。やりたい授業がたくさんあり、悩みながら必要な時間数を組んでいる。教務の意見をすべて入れた場合、既定より 100 コマ程度オーバーしてしまう。次年度から専門学校も単位制へと移行する。学校での対面授業が基本であったが、これからは自宅で学習できる部分を明示し、バランスを取りながら既定のコマ数に近づけたい。教務の負担を軽くする努力を段階的に実施していく

	必要がある。 ・今までやったことがない、まだすべての観光業界から必要という意見がない点から「見通しがつかない」という方に比重が高くなっているかと思う。今後、ITに慣れた人たちが社会へどんどん入ってくる。さまざまなITが併用できる考えになっていくと思う。現場の負担を減らしながら、教授力向上に取り組んでいきたい。 （仲宗根） ・観光分野の学習に関して、高校生の興味関心について教えてほしい。 （儀間委員） ・観光ビジネスという商業科目ができて約4年になる。始めは指導できる教員が少なく、避けられていた。科目の必要性から設置している高校も増えている。本校の国際ビジネス科でも実施している。地元の観光業を学び、海外と比較できる視点を持たせたい。 ・RESASについては教科書の付録にもなっている。データを活用し、観光業の課題解決に向けて考えるIT系の授業を取り入れている。技術的な点で専門学校との連携がうまくいくと、生徒たちもより高度な学習に発展していけると思う。 ・実証授業を受けた専門学生が、高校生の時にRESASに触れていたのでやりやすかった。という感想は嬉しかった。専門学校での取り組みを知り、つなげていくことが使命。生徒たちの知識を増やし、技術を身につけられる後押しをしたい。 （仲宗根） ・企業にも興味を持ってもらえそうか教えてほしい （川端委員） ・高校、専門学校での取り組みを聞くと、ITのレベルは現場の職員より学生の方が上かもしれない。入社の時点で差があるかもしれない。 ・㈱かりゆしでは、選抜した職員に県の事業を活用して、外部講師による研修を実施している。これからはITを当たり前に使いこなせる世代が入社してくる。職員のITレベル底上げが企業の課題で、取り組みを進めている。このような教材があれば、ニーズが出てくると思う。 （山城委員） ・旅行業界でもデータに基づいたサービスの開発・提供の動きがある。当社でも若手職員を中心に勉強会を実施している。このような案件があれば、若手以外の職員からも希望は多いと思う。 （高橋委員） ・来週、管理職を対象に生成AIに関する講座を実施する。我々にも危機感がある。データ分析に関しては人間よりAIの方が優れている。活用の方法もプログラム検討委員会が始まった頃に比べ大きく進んでいる。 ・取り残される危機感もあるが、活用できれば数字やデータによる他社との違いや自社の強みを打ち出せる。私たちからスタッフへ教えることは難しい。専門学校や高校で教えてくれる場があると非常にありがたい。若者は圧倒的に早く活用できていくと思う。 （今村委員） ・アンケート結果をチャットGPTに読み込ませてみた。操作や理解度が上がっていた結果から、教材の質は十分満たしていると返答があった。 ・RESASの操作が難しいという感想があった。外部の方を入れてよいと思う。この教材はRESASのプロになることが目的でない。操作に慣れるため使用する機能を限定する。私の研修でもそうしている。多くを教えてあげたいが、手段分析の手法は3つに絞っている。 ・授業でもアウトプットの時間を増やすと教員の負担も減るし、学生も興味を持つだろう。教材を実装していく段階で必要になると思う。 ・アンケートの回答はポジティブな意見が多かった。個人的にはもう少し複雑なデータを使用してもよかったのではと感じたが、結果としては良かった。 ・全国展開を踏まえると、RESASを使用した点はとても良い。沖縄でしか使えないデー

	タであれば広がらない。RESASに絞ったことはゴールに対して非常に良い。 ・操作が難しいという声は社会人に教えても同じ。初めて使うツールは誰でも難しいのでネガティブに捉えることはない。指導に関しては外部の専門家や、使用する機能を限定してしまえばよい。 ・今後、学んだ学生たちの就職先に関する課題が今後出てくる。企業を巻き込んで、RESASによる課題解決の実証をすることは良いと思う。 ・昨年、アメリカのチャットGPTで買い物ができる機能が追加された。ECサイト2%のユーザーであったが、1兆円の売り上げにつながった。観光業界にもいずれやってくる。現在のビジネスモデルや手法は通用しなくなる時代が来る。ビジネスの構造自体が大きく変わった。 **議題2：令和8年度事業の方向性について** ・仲宗根よりPPを使い説明 **議題 3：意見交換** <u>質疑・感想等</u> （岡村委員） ・大分まとまってきた実感がある。単位制への移行により、45 時間で1単位という規定にはなるが、事前事後の学習時間を含めた内容である。動画の視聴や発表のプレゼン資料作成などもシラバスに含めないといけない。文科省のチェックも踏まえ、アバウトな作成ではいけない。 ・日々アップデートしていく内容を先生方で教えることは難しい。外部の方をどんどん入れ、先生は学生の指導に時間を使うようにする方が良い。最新の情報はプロに任せる。 （儀間委員） ・社会が日々変化する中、自身もついていけてない部分も多く、生徒の方が詳しいこともある。生徒たちに何を教え、生き抜くチカラを身につけさせる必要があるか日々考えている。生徒たちが何に興味を持つかは教員側のきっかけ作りが重要だと思う。 ・観光IT人材育成について生徒たちに伝え、観光とITの両方に興味を持つ高校生を多く輩出したい。基本的な部分、将来役立つ知識と技術を身につけさせたい。 （高橋委員） ・初め、理系転換の事業に何が協力できるのか疑問であったが、内容が進んでいく中で必要性に気づいた。観光業の本質はお客さまに喜んでもらうことである。ホスピタリティにITがプラスできるリテラシーが高い人材は必ず必要である。時代も確実にその方向で、私たちの世代も気持ちが切り替わっている最中。 （山城委員） ・観光業は裾野が広い業界。ITに関する勉強会も盛んに行われている。この学んだことをどのようにサービスの提供にアウトプットさせるかが課題。計画している企業や卒業生への実証にも参加させてもらいたい。学んだ内容がどのように職業に結び、受け入れていくか準備を進めていきたいと思った。 （川端委員） ・アンケートの結果は、回を重ねるごとに満足度が上昇している。理解度も同様に上がっていると感じた。小さな成功体験が満足度につながると思う。小さな成功が積める課題へチャレンジさせる作り方が必要。実社会でも同じようにすることで大きな成功がつかめると感じた。 ・教職員の教材の使用アンケートで「新聞活用授業で検討」という回答があった。ぜひ県内紙を活用して頂きたい。県の観光予算、使われ方、人事、イベント、プロモーションなど新聞には多くのヒントがある。沖縄らしい課題解決だとより具体的。生徒に身近に感じてもらえると思った。

	・ホスピタリティ産業であるホテルにとって、お客さまの満足度向上が一番の課題。チームワークやプレゼンによるコミュニケーション力にITの知識がある人材がまさに必要。業界はまだ追いつけていない。これからはITスキルを求める仕組みづくりも必要かもしれない。 ・今後は学生が学んでいる内容と業界が求めるスキルの認識を合わせる取り組みも必要になってくると思う。 （中山委員） ・外部の方を交えて先生方の負担を減らしてほしい。先生方が最新のAI技術を学ぶ必要はなく、任せた方がうまく回ると思う。将来的にシラバスにはAIの応用などさらに追加した方が良い。子どもたちにとってもより楽しく学べて未来を作っていけると感じる。この事業が成功事例となれば、日本の観光業界も注目する。委員会には期待している。多くの方が協力してくれると思うので、助けを求めながら今後も進めてほしい。 （吉田委員） ・検討委員会の当初、多くの方がAIやITの必要性は感じつつも懐疑的な点が多かったと思う。そこから具体的に取り組みが始まっていることがすばらしい。文科省の事業ではあるが、ITを学んだ学生が活躍し、産業界と一緒にアップデートしていかなければ意味がない。教材開発だけではない話ができて良かった。 （今村委員） ・次年度も協力できることがあれば貢献したい。話の内容からも成功確率の高さを感じる。 ・生成AIのデメリットは曖昧だと勝手にストーリーを作ってしまうこと。コンセプトをはっきりさせて、AIに指示することが重要。人間がコントロールしないとAIは機能しない。ラグジュアリーブランドは自社のコンセプトが明確なので生成AIを活用することに成功している。沖縄の魅力は現地の人が1番理解できていると思う。ブレないことが重要。 （前津委員） ・昨月参加した研修で、生成AIと普段使用していないプログラミング言語を使ってウェブサイトの作成を行った。まったく知識がない状況でも時間割作成のサイトやゲームを作ることができた。 ・ITを教える先生によっても生成AIに対する考えは多々あるが、根本的な部分は変わらないと思う。観光業とITを掛け合わせる革新的な技術の根となる部分を学んだ学生であれば、観光業以外を問わず、さまざまな企業で活躍できる機会につながると思う。 ・多くのことを学びながら、観光業側とIT側を知る立場としてできることをやりたい。 ・今後の予定について（仲宗根） 令和8年度　委員会開催予定 第１回委員会　2026 年　7 月 17 日(金)15:00～17:00 第２回委員会　2026 年　10 月 16 日(金)15:00～17:00 第３回委員会　2027 年　1 月 22 日(金)15:00～17:00 会場　インターナショナルリゾートカレッジ その他：本日の参加お礼（永村） 以上　委員会を終了する。